

(様式第 10)

新大病医第 165 号  
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人新潟大学長  
牛木 辰男

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院
-------------

3 所在の場所

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話( 025 ) 223 - 6161
----------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科                      ②消化器外科                      3乳腺外科                      4心臓外科 5血管外科                      ⑥心臓血管外科                      7内分泌外科                      ⑧小児外科	
診療実績 「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科    ②小児科    ③整形外科    ④脳神経外科    ⑤皮膚科    ⑥泌尿器科    ⑦産婦人科 8産科    9婦人科    ⑩眼科    ⑪耳鼻咽喉科    12放射線科    ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科    ⑮麻酔科    ⑯救急科
---

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科    ②矯正歯科    ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科    2肝胆膵内科    3腫瘍内科    4形成・美容外科    5リハビリテーション科    6病理診断科
---

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64床	床	床	床	763床	827床

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	361人	324人	546.0人	看 護 補 助 者	18人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	138人	96人	175.4人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	58人
薬 剤 師	61人	0人	61人	作 業 療 法 士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	32人	0人	32人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	825人	15人	836.1人	臨 床 工 学 士	22人	医療社会事業従事者	11人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人
歯 科 衛 生 士	22人	4人	25人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	179人
管理栄養士	8人	0人	8人	診 療 放 射 線 技 師	43人	そ の 他 の 職 員	76人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	61人	眼 科 専 門 医	14人
外 科 専 門 医	41人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	9人	放 射 線 科 専 門 医	19人
小 児 科 専 門 医	24人	脳 神 経 外 科 専 門 医	16人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	26人
泌 尿 器 科 専 門 医	17人	麻 酔 科 専 門 医	20人
産 婦 人 科 専 門 医	29人	救 急 科 専 門 医	9人
		合 計	307人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 富田 善彦 ) 任命年月日 平成31年4月1日

平成31年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)のセンター長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	626.4人	17.6人	644.0人
1日当たり平均外来患者数	1,627.2人	511.3人	2138.6人
1日当たり平均調剤数			2,945剤
必要医師数			166人
必要歯科医師数			29人
必要薬剤師数			38人
必要(准)看護師数			418人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	610m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	27床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48m <sup>2</sup>	病床数	3床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	116m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト			
細菌検査室	161m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット			
病理検査室	338m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置			
病理解剖室	221m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	755m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等			
講義室	514m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	9室	収容定員	303人
図書室	99m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	5,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	87.3%	逆紹介率	89.9%
算出根拠	A：紹介患者の数		13,509人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,085人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,125人
	D：初診の患者の数		17,901人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村 朝輝	元 済生会新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <del>無</del>	1
月岡 恵	元 新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <del>無</del>	1
三部 正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <del>無</del>	1
田代 文俊	新潟大学（監事）		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・ <del>無</del>	2
成田 邦彦	新潟大学（理事）		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	<del>有</del> ・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<del>有</del> ・無
委員の選定理由の公表の有無	<del>有</del> ・無
公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	特発性大腿骨頭壊死症	103
2	筋萎縮性側索硬化症	37	57	下垂体性ADH分泌異常症	11
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	下垂体性PRL分泌亢進症	11
4	進行性核上性麻痺	13	59	クッシング病	8
5	パーキンソン病	83	60	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	32
6	大脳皮質基底核変性症	5	61	下垂体前葉機能低下症	126
7	ハンチントン病	1	62	先天性副腎皮質酵素欠損症	12
8	シャルコー・マリー・トゥース病	3	63	先天性副腎低形成症	1
9	重症筋無力症	164	64	サルコイドーシス	124
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	123	65	特発性間質性肺炎	21
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20	66	肺動脈性肺高血圧症	35
12	封入体筋炎	1	67	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
13	クロー・深瀬症候群	3	68	リンパ脈管筋腫症	12
14	多系統萎縮症	18	69	網膜色素変性症	14
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	58	70	バッド・キアリ症候群	4
16	ライソゾーム病	14	71	特発性門脈圧亢進症	4
17	副腎白質ジストロフィー	6	72	原発性胆汁性肝硬変	47
18	ミトコンドリア病	8	73	原発性硬化性胆管炎	4
19	もやもや病	66	74	自己免疫性肝炎	18
20	プリオン病	5	75	クローン病	141
21	HTLV-1関連脊髄症	2	76	潰瘍性大腸炎	237
22	全身性アミロイドーシス	20	77	好酸球性消化管疾患	1
23	神経線維腫症	47	78	慢性特発性偽性腸閉塞症	6
24	天疱瘡	32	79	クリオピリン関連周期熱症候群	1
25	表皮水疱症	1	80	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	5
26	膿疱性乾癬(汎発型)	17	81	先天性ミオパチー	1
27	高安動脈炎	30	82	筋ジストロフィー	9
28	巨細胞性動脈炎	3	83	脊髄空洞症	1
29	結節性多発動脈炎	12	84	脊髄髄膜瘤	2
30	顕微鏡的多発血管炎	35	85	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
31	多発血管炎性肉芽腫症	28	86	前頭側頭葉変性症	1
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	87	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1
33	悪性関節リウマチ	7	88	限局性皮質異形成	1
34	パージャール病	4	89	レノックス・ガストー症候群	1
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	90	ラスマッセン脳炎	1
36	全身性エリテマトーデス	355	91	スタージ・ウェーバー症候群	1
37	皮膚筋炎／多発性筋炎	145	92	結節性硬化症	7
38	全身性強皮症	103	93	家族性良性慢性天疱瘡	1
39	混合性結合組織病	49	94	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	27
40	シェーグレン症候群	24	95	特発性後天性全身性無汗症	3
41	成人スチル病	15	96	マルファン症候群	4
42	再発性多発軟骨炎	7	97	エーラス・ダンロス症候群	1
43	ベーチェット病	78	98	ウィルソン病	5
44	特発性拡張型心筋症	73	99	無脾症候群	2
45	肥大型心筋症	22	100	ウェルナー症候群	1
46	再生不良性貧血	38	101	ブラダー・ウィリ症候群	1
47	自己免疫性溶血性貧血	2	102	22q11.2欠失症候群	2
48	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	103	修正大血管転位症	1
49	特発性血小板減少性紫斑病	33	104	三尖弁閉鎖症	2
50	原発性免疫不全症候群	9	105	ファロー四徴症	1
51	IgA腎症	29	106	両大血管右塞起始症	1
52	多発性嚢胞腎	47	107	アルポート症候群	2
53	黄色靭帯骨化症	5	108	急速進行性糸球体腎炎	1
54	後縦靭帯骨化症	62	109	抗糸球体基底膜腎炎	1
55	広範脊柱管狭窄症	8	110	一次性ネフローゼ症候群	26

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	161		
112	紫斑病性腎炎	3	162		
113	オスラー病	2	163		
114	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	164		
115	副甲状腺機能低下症	3	165		
116	偽性副甲状腺機能低下症	3	166		
117	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	167		
118	フェニルケトン尿症	2	168		
119	ポルフィリン症	1	169		
120	脳腫黄色腫症	2	170		
121	家族性地中海熱	4	171		
122	慢性再発性多発性骨髄炎	1	172		
123	強直性脊椎炎	26	173		
124	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	174		
125	骨形成不全症	1	175		
126	軟骨無形成症	1	176		
127	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	177		
128	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2	178		
129	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	5	179		
130	後天性赤芽球癆	3	180		
131	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	181		
132	自己免疫性出血病XIII	1	182		
133	総排泄腔遺残	1	183		
134	胆道閉鎖症	3	184		
135	IgG4関連疾患	9	185		
136	好酸球性副鼻腔炎	59	186		
137	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/ LMX1B関連腎症	1	187		
138	特発性多中心性キャッスルマン病	2	188		
139			189		
140			190		
141			191		
142			192		
143			193		
144			194		
145			195		
146			196		
147			197		
148			198		
149			199		
150			200		
151			201		
152			202		
153			203		
154			204		
155			205		
156			206		
157			207		
158			208		
159			209		
160			210		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・入退院支援加算
・救急医療管理加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算	・救命救急入院料
・看護補助加算	・特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算	・小児入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・遺伝学的検査
・糖尿病合併症管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん患者指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来緩和ケア管理料	・先天性代謝異常症検査
・移植後患者指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病透析予防指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・小児運動器疾患指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・国際標準検査管理加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・外来放射線照射診療料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ニコチン依存症管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・療養・就労両立支援指導料	・胎児心エコー法
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・ヘッドアップティルト試験
・がん治療連携計画策定料	・皮下連続式グルコース測定
・ハイリスク妊産婦連携指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・神経学的検査
・薬剤管理指導料	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料1	・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図
・医療機器安全管理料2	・ロービジョン検査判断料
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・コンタクトレンズ検査料
・歯科治療時医療管理料	・内服・点滴誘発試験
・在宅患者歯科治療時医療管理料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・精密触覚機能検査

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・睡眠時歯科筋電図検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算1	・医療保護入院等診療料
・画像診断管理加算2	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・画像診断管理加算3	・多血小板血漿処置
・歯科画像診断管理加算	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	・人工腎臓
・CT撮影及びMRI撮影	・手術用顕微鏡加算
・冠動脈CT撮影加算	・口腔粘膜処置
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・外傷全身CT加算	・CAD/CAM冠
・心臓MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
・乳房MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・皮膚移植術(死体)
・頭部MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・全身MRI撮影加算	・処理骨再建加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来化学療法加算1	・椎間板内酵素注入療法
・無菌製剤処理料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・運動器リハビリテーション料(I)	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん患者リハビリテーション料	・内皮移植加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・羊膜移植術
・集団コミュニケーション療法料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科口腔リハビリテーション料2	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・認知療法・認知行動療法	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・生体部分肝移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・同種死体肝移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下腭腫瘍摘出術及び腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種死体腭移植術、同種死体腭腎移植術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び胆嚢瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・同種死体腎移植術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・生体腎移植術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・膀胱水圧拡張術
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・補助人工心臓	・胎児輸血術(一連につき)
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・経皮的下肢動脈形成術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・輸血管理料 I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血適正使用加算	・歯科矯正診断料
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・コーディネート体制充実加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・レーザー機器加算の施設基準	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・病理診断管理加算	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・口腔病理診断管理加算	



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(JSPS)循環器内科学、代謝および内分泌学分野に関する学術研究動向―老化制御から紐解く循環器・代謝疾患の新たな研究展開―	南野 徹	循環器内科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補委 新潟県
関東・甲信越ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	24,540,000	補委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補委 新潟県
神経再生を誘導する末梢血単核球作用の検討	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補委 新潟県
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムの開発と平衡リハビリトレーニングプログラムの作成 ②臨床研究:慢性めまいに対する診断方法確立とリハビリテーション介入による治療効果判定	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,500,000	補委 新潟県
水俣病、緑内障における視野及び光干渉断層計(OCT)網膜内層構造と視覚の質(QOV)の関係	福地 健郎	眼科	3,500,000	補委 新潟県
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本 隆之	産科婦人科	972,000	補委 新潟県
(AMED)薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	阿部 理一郎	皮膚科	3,900,000	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)加齢に伴う老化細胞蓄積メカニズムとその病的老化形質に対する関与の解明	南野 徹	循環器内科	114,400,000	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)加齢に伴う老化細胞蓄積メカニズムとその病的老化形質に対する関与の解明	南野 徹	循環器内科	3,010,800	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	74,001,200	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	7,020,000	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)ウェアラブルデバイスを用いて“嗜む”を行動変容することによる食生活の適正化	小野 高裕	義歯診療科	30,000,000	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)抗線維化・再生誘導剤の開発:臨床を見据えた肝硬変に対する間葉系幹細胞由来のエクソソームを用いた次世代治療法開発への基盤研究	寺井 崇二	消化器内科	19,500,000	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
(AMED)カリンをターゲットにした急性腎障害および慢性腎臓病の創薬研究	斎藤 亮彦	小児科	8,780,200	補委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構

小計 16件

(AMED)重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	阿部 理一郎	皮膚科	23,712,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)血清エクソソーム内細菌成分のアレルギー・自己免疫疾患発症への関与の解明	阿部 理一郎	皮膚科	19,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)新規老化関連分子を標的とした糖尿病大血管合併症治療法の開発	南野 徹	循環器内科	6,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
低身長を伴った思春期早発症症例における遺伝学的原因および臨床像の検討	長崎 啓祐	小児科	250,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
(AMED)TREX1発現制御と老化関連分泌表現型(SASP)に着目した遺伝性脳小血管病	小野寺 理	脳神経内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)進行性核上性麻痺と関連タウオパチーの患者レジストリと試料レポジトリを活用した診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	14,079,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第II相試験	小野寺 理	脳神経内科	117,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)予防的治療法を最適化するための早期アルツハイマー病の診断法の確立	池内 健	脳神経内科	6,100,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)国際共同研究ネットワークによる家族性アルツハイマー病の多角的データ収集とトランスレーショナル研究	池内 健	脳神経内科	14,950,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)新型インフルエンザ等重症呼吸器感染症の臨床・病理学的解析に基づく診断・治療に係る国際連携研究	齋藤 昭彦	小児科	2,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)剖検脳・罹患組織を用いたマルチオミックス解析による神経変性タウオパチーの病態解明と創薬標的の同定	池内 健	脳神経内科	28,158,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	75,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	50,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	10,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)髄液・血液バイオマーカーとAPOE遺伝子開示の検討	池内 健	脳神経内科	390,000	補委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
(AMED)子宮頸癌 I B期- II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法法の第III相ランダム化比較試験	榎本 隆之	産科婦人科	195,000	補委	静岡県立静岡がんセンター
(AMED)先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた、疾患横断的な全国多施設レジストリ研究	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	520,000	補委	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
(AMED)新生児マススクリーニング対象拡充のための疾患選定基準の確立	齋藤 昭彦	小児科	325,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター

小計 19件

(AMED)画像集積、AI診断活用開発	阿部 理一郎	皮膚科	2,990,000	補委	公益社団法人日本皮膚科学会
(J-DREAMS)電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
(AMED)効果的な保健指導手法の評価と開発プログラムの実証研究	加藤 公則	内分泌・代謝内科	325,000	補委	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団
(AMED)運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	小野寺 理	脳神経内科	520,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
(JST)科学的エビデンスに基づく「フィジカルエイジ」(体力年齢)の確立ならびに社会実装に向けた製品化	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	1,624,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
(JST)科学的エビデンスに基づく「フィジカルエイジ」(体力年齢)の確立ならびに社会実装に向けた製品化	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	1,375,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
(AMED)新潟大学医学総合病院を中心とした多診療科によるIRUD拠点病院の構築	成田 一衛	腎・膠原病内科	3,900,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	425,700	補委	にいがた摂食嚥下障害サポート研究会
パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative (通称:J-PPMI))	池内 健	脳神経内科	1,100,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
次世代シークエンサーを用いた癌ゲノム医療システム基盤構築に関する研究	若井 俊文	消化器外科	4,300,000	補委	新潟県
乳癌免疫微小環境における脂質メディエーター分子の役割解明と治療応用を目指した研究	永橋昌幸	消化器外科	5,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線3次元線量分布への歯科用合金の影響解明と分布に影響しないマウスピース開発	勝良剛詞	歯科放射線科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな凍結保存歯移植法の開発-骨髄間葉系幹細胞培養上清を応用する-	新美奏恵	地域保健医療推進部	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな歯周炎・リウマチ関連機序の解明-NET誘導性カルバミル化ペプチドの関与-	小林哲夫	歯科総合診療科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規膜結合型キメラサイトカインによるNK細胞増幅法の開発	今村勝	小児科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞の急性肝障害下の産生物質、エクソソームに着目した抗炎症療法の開発	土屋淳紀	第三内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規老化関連分子SAGPを標的とした老化細胞除去による加齢関連疾患治療法の開発	須田将吉	第一内科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化シグナルによって制御される肺高血圧の病態解析	保屋野真	循環器内科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌の脈管侵襲における脂質メディエーター分子機構の解明と臨床的意義	廣瀬雄己	第一外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 19件

胃癌DNA二重鎖損傷修復機構破綻の包括的評価と臨床的意義の解明	堅田朋大	第一外科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
インフルエンザ肺炎の早期診断法の確立とサイトカインパネルを用いた重症化機序の解明	林正周	第二内科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
関節軟骨修復に寄与するマイクロRNAの探索	目良恒	魚沼地域医療教育センター(整形外科)	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨密度を規定する候補遺伝子Mpp7の骨組織における役割の解明	近藤直樹	整形外科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対する免疫治療の開発	生越章	魚沼地域医療教育センター準備室(整形外科)	200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫プロファイリングによる免疫チェックポイント療法への感受性規定因子の同定	富田善彦	泌尿器科	500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
特異的代謝メカニズムを標的とした婦人科悪性腫瘍がん幹細胞の新規治療法の探索	石黒竜也	産科婦人科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
喘息発症における上咽頭細菌叢の関与:16s rRNA解析を用いた網羅的検討	高橋奈央	耳鼻咽喉・頭頸部外科	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
規格化ナノ構造に接着する蛋白質が制御する細胞機能の解明	秋葉陽介	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
グラスファイバー強化型レジンプロック削り出しダウエルコアを用いた支台築造法の開発	荒井良明	顎口腔インプラント治療部	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
唾液腺腫瘍の低酸素応答性増殖機構を標的とした抗腫瘍治療法の創出	丸山智	病理部(歯科担当)・歯科病理検査室	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
本邦における中枢性甲状腺機能低下症の診療状況および分子遺伝学的検討	長崎啓祐	小児科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価法と嚥下リハ地域連携システムの確立	木村慎二	総合リハビリテーションセンター	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
老化細胞の選択的除去効果を有する新規薬剤の導出と加齢性疾患への効果の検討	勝海悟郎	循環器内科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
シヌクレインパチー前駆症状に関与する口腔微生物神経毒の定量的検討	小澤鉄太郎	神経内科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
周産期の母親から子への愛着形成に影響を与える精神医学的・産科学的因子の同定	福井直樹	精神科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腸内細菌叢に着目した統合失調症のmortality gap回復と新たな治療戦略	須貝拓朗	精神科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌発生腺管の3D組織構築と遺伝子解析からの検討	八木一芳	魚沼地域医療教育センター(消化器内科)	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明	横山純二	第三内科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

卵巣癌肝転移における直腸間膜リンパ節転移を経由した新たな転移経路の解明	中野雅人	第一外科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明	羽入隆晃	第一外科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
口腔-腸管連関の新展開:嚥下された歯周病原細菌は腸炎を悪化させるか?	高橋直紀	歯周病科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
咀嚼時の情動変化が脳賦活に与える影響	長谷川陽子	義歯診療科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する	真柄仁	摂食嚥下機能回復部	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
3D画像を用いた新しい口蓋裂咬合評価システムの構築	児玉泰光	顎顔面口腔外科	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
口腔粘膜重層培養系を用いたmTOR阻害剤による口内炎症機序の解明	北村信隆	臨床研究推進センター	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAF)の機能解明	船山昭典	口腔再建外科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
膠芽腫に対する代謝プログラミングおよびmTORを標的とした効果的薬物療法の確立	江田岳誉	薬剤部	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
診断困難な消化管運動異常症と機能性消化管疾患との境界症例の病態解明	佐藤裕樹	消化器内科	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
臓器選択的ハイドロダイナミック遺伝子導入法の新規膵癌遺伝子治療法への応用	上村顕也	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心室細動の発症、維持、再発に関与する解剖学的基盤を標的とした新たな治療法の開発	飯嶋賢一	循環器内科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
次世代シーケンスを用いた致死性不整脈の新たな原因遺伝子の探索	八木原伸江	第一内科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肺MAC症におけるバイオマーカーCXCL10の有用性について	茂呂寛	感染管理部	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
血球吸着モデルを用いたLAM患者におけるシロリムス最適薬用量決定法の提案	田中崇裕	臨床研究推進センター	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
23Na-MRIを用いたネフローゼ症候群の病態生理の解析	悴田亮平	腎・膠原病内科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規リン代謝マーカー:ポリリン酸と腎臓病で増悪する感染症の関連	山本卓	腎・膠原病内科	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
膵癌患者の免疫微小環境における脂質メディエーター分子の役割と臨床的意義	滝沢一泰	高次救命災害治療センター	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
成人期脊柱変形の進行メカニズム~骨格筋減少に着目した大規模コホート研究	渡邊慶	整形外科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

早産児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺サーファクタントと胎脂を用いた動物実験	西島浩二	総合周産期母子医療センター	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
単一細胞シークエンスを用いた卵巣類内膜癌の発症機序の解明	安達聡介	総合周産期母子医療センター	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
生理機能充進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
顎変形症患者における鼻咽腔領域における気道形態変化のシミュレーションモデルの考案	長谷部大地	口腔再建外科	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髄静的幹細胞賦活法の試み	大島邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自発性異常味覚の苦味の正体にせまる	船山さおり	加齢歯科診療室	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子宮内胎児発育不全の発症予防を目的とした遺伝子多型と嗜好品摂取との相互作用解析	能仲太郎	産科婦人科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
同種造血細胞移植の再発率低下を目指したリハビリテーション法の確立	柴崎康彦	高密度無菌治療部	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
SIPの癌代謝制御機構に着目したトリプルネガティブ乳癌の病態と薬剤耐性機序の解明	永橋昌幸	消化器外科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
費用対効果分析の実用上の問題点に対する統計学理論による解決策の検討	赤澤宏平	医療情報部	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
セラミドによる免疫制御機構を応用した膵島移植における膵島生着延長の試み	小林隆	第一外科	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
オリゴデンドログリアに着目した多系統萎縮症のバイオマーカーの探索	徳武孝允	神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
視神経脊髄炎関連疾患の病態機序へのエクソソームの関与	佐治越爾	神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
画像誘導放射線治療における患者被曝線量低減に向けた線量予測システムの開発	棚邊哲史	放射線治療科	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用	川口弦	放射線治療科	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
乳児突然死に関連したミトコンドリア呼吸鎖異常症の原因遺伝子PNPAL4の機能解明	入月浩美	小児科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ラット膵発癌モデルの開発による膵癌早期診断マーカーおよび新規治療法の確立	五十嵐聡	光学医療診療部(消化器内科)	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ドロペリドールの脊髄における作用機序の解明	三ツ間祐介	総合臨床研修センター	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
麻酔薬の脊髄前角細胞における作用機序の解明	出口浩之	麻酔科	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

3次元画像解析による脊柱靭帯骨化症の骨化進展:骨代謝動態を含めた包括的解析	勝見敬一	整形外科	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
卵巣成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化症例における網羅的遺伝子異常、融合遺伝子の探索	田村亮	産科婦人科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
蝸牛外側壁構成細胞の加齢性変化-連続切片走査型電子顕微鏡法による3次元解析-	正道隆介	耳鼻咽喉科	500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
多列面検出器型CTによる頭頸部癌化学放射線治療後の嚙下障害機序の解明	山崎恵介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
内耳蝸牛におけるN-結合型糖鎖の網羅的解析と内リンパ液環境の制御メカニズムの解明	野々村頼子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
日中ブラキシズムは正指導としての行動変容法の効果を客観的に定量評価する	高嶋真樹子	顎口腔インプラント治療部	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
拡散強調画像分画成分抽出による三叉神経障害性疼痛の新たな評価法の開発	大塚有紀子(須田有紀子)	総合臨床研修センター	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を撮る印象方法の開発-	大森裕子	総合臨床研修センター	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
SETD1A遺伝子の稀な変異と日本人統合失調症における発症リスク	森川亮	精神科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
性ホルモンに着目した治療抵抗性うつ病の治療法および認知症予防法の確立	常山暢人	精神科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん放射線耐性克服に向けた新たな治療戦略開発;耐性細胞株で増加する分子に着目して	金光祥臣	臨床研究推進センター	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
国内におけるパレコウイルスA3の前方視的疫学調査	相澤悠太	小児科	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
急性期疼痛時の脊髄におけるnNOSとCOX-2の関連性	大西毅	麻酔科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
長時間作用型ステロイド添加による局所麻酔薬作用延長効果の解明	松田敬一郎	麻酔科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
下行性抑制系のセロトニン経路に対するガバペンチンの作用の解明	柳村春江	麻酔科	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抑肝散の周術期投与による術後痛と不安の軽減とそのメカニズムの解明	田中萌生	麻酔科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脊髄前角運動ニューロンにおける麻酔薬の作用と、虚血神経保護作用の有無と作用機序	山本知裕	総合周産期母子医療センター	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
形態、アライメント、運動から見た変形性膝関節症の発症、進行メカニズムの解明	望月友晴	整形外科	500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
頸髄損傷患者における3DAC画像を用いた軸索再生の可視化と臨床機能との相関解析	浦川貴朗	整形外科	200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

持続性知覚性姿勢誘発めまいの病態解明	八木千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科	200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
機能的メタボライトの抗酸化作用による歯周炎抑制効果の検討	松川由実(松田由実)	総合臨床研修センター	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
PCSK9は歯周治療効果を評価する新たなバイオリジカルマーカーとなるか?	宮沢春菜	臨床研究推進センター	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高齢者における光治療応用はスケーリング後菌血症による生体応答変化を防げるか?	保苺崇大	総合臨床研修センター	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
特異的分子発現を利用したヒト口唇および赤唇インビトロモデル開発とその有効性の検証	上野山敦士	顎顔面口腔外科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
咀嚼・嚥下・呼吸の相互変調効果に関する神経学的解析	那小屋公太	摂食嚥下機能回復部	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立	齋藤大輔	口腔再建外科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
間葉系幹細胞培養上清を利用した下顎頭吸収の予防・治療法の検討	須田大亮	口腔再建外科	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明	北見公平	矯正歯科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
多職種連携による費用対効果を指標とした歯科における抗菌薬適正使用の研究	吉田謙介	薬剤部	500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討ー長期言語成績による分析ー	大湊麗	言語治療室	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍周囲肺のテクスチャ解析を用いた肺癌の新しい予後予測法の確立	山崎元彦	放射線部	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における肝細胞内のミトコンドリアDNAコピー数と機能評価	荒生祥尚	第三内科	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
臓器間ネットワークを介したセロトニン発現変化の肝病態マーカーとしての有用性の検証	薛徹	第三内科	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
早期再分極による心房性不整脈基質に関する多面的解析と新たな治療戦略の構築	長谷川祐紀	第一内科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
反復運動負荷による気道収縮と気道リモデリングのメカニズムについて	月岡啓輔	第二内科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Precision Medicineを目指すアトピー性皮膚炎モデルシステムの確立	林良太	皮膚科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
グルコシルセラミド分子機構の乳癌免疫微小環境における役割と臨床的意義	諸和樹	消化器外科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脊髄X層における慢性疼痛発症過程で生じるシナプス可塑性変化の病態解明	大橋宣子	麻酔科	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

神経障害性痛における脊髄—大脳皮質神経活動連関とグリア細胞活性化制御の影響	番場景子	麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
頸部内頸動脈狭窄症におけるプラーク破綻同定のバイオマーカー開発	安藤和弘	脳神経外科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
KRAS遺伝子変異を有する脳動脈静脈奇形の病態解明と分子標的治療の確立	齋藤祥二	脳神経外科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
海馬硬化症のてんかん原性機構におけるGAP-43のリン酸化解析	岡田正康	脳神経外科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ペントースリン酸経路を基軸とした卵巣がん幹細胞の治療抵抗性獲得機構の解明	山脇芳	産科婦人科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
マウス前庭野の同定と前庭障害後の前庭野の可塑性の評価	小木学	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
重症喘息を合併する好酸球性副鼻腔炎に対する生物学的製剤の治療効果の検討	新堀香織	総合臨床研修センター	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
副甲状腺の自家蛍光を利用した探索システムの開発	高橋剛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
多能性幹細胞から分化誘導した神経オルガノイドによる末梢神経再建	小川和也	消化器内科	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自家培養骨膜を用いた骨欠損、骨露出部の治療戦略に関する基礎研究	浅倉辰則	形成・美容外科	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
長期徐放型LDDS製剤としての抗菌ペプチド含有ナノメディシンの機能評価	佐藤圭祐	総合臨床研修センター	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的、定量的品質評価方法の確立	鈴木絢子	小児歯科・障がい者歯科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
次世代主要切削器具としてのジルコニアドリルの臨床的優位性を多面的に検討する	三谷咲貴	総合臨床研修センター	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発	大川純平	総合臨床研修センター	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
血管の偏在による局所的低酸素が歯根膜の線維形成に及ぼす影響の解明	河村篤志	顎関節治療部	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
歯根膜線維の組織化が細胞外微小環境として幹細胞分化に及ぼす影響の解明	井田貴子	冠・ブリッジ診療科	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索	江口香里	冠・ブリッジ診療科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
介護食の摂食嚥下動態に影響を与える摂食嚥下能力の客観的指標の解析	村上和裕	義歯診療科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
下顎形成における一次線毛の機能解析 —メッケル軟骨を通して—	永井孝宏	総合臨床研修センター	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 19件

口腔癌とがん関連線維芽細胞の3次元培養による非侵襲的癌浸潤解析モデルの確立	齋藤夕子(原夕子)	総合臨床研修センター	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析	中村太	総合臨床研修センター	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
慢性高インスリン血症の適切な評価法の確立と本邦2型糖尿病の再分類	松林泰弘	内分泌・代謝内科	2,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脊髄X層におけるノルアドレナリンの作用機序と慢性疼痛の病態解明	大橋宣子	麻酔科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
細菌付着を減弱するジフテリア菌表層糖脂質誘導体を用いたバイオフィルム制御剤の開発	長谷川泰輔	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ロングスパンブリッジ用新規CAD/CAM用レジンの開発およびその臨床応用	高昇将	予防歯科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
咽頭残留に影響する嚥下機能・食品物性の探索—レトロネーザルを用いた咽頭残留評価—	大川純平	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
舌運動モーションキャプチャと舌圧測定の同時計測—高齢者の嚥下時舌運動評価—	相楽仁子	義歯診療科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自己免疫性肺胞蛋白症の病態におけるIgA型抗GM-CSF自己抗体の関与について	島賢治郎	第二内科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胃食道逆流による咀嚼・嚥下変調機序の解明	吉原翠	摂食嚥下機能回復部	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
歯科金属アレルギーによる乾癬症状増悪・継続機序の解明	高岡由梨那	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
周産期のうつ病や自殺予防のためのオンライン診療システムの構築	橋尻洗陽	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
糖尿病患者での血糖及び食事・身体活動モニタリングの有効性検証の臨床介入試験	北澤勝	第一内科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
				補委	

小計 13件

合計 181件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ling, Y., Watanabe, Y., Nagahashi, M. et al.	ゲノム医療センター	Genetic profiling for diffuse type and genomically stable subtypes in gastric cancer.	Comput. Struct. Biotechnol. J. 2020 Oct;18:3301-08	Original Article
2	Arai Y, Inanobe- Takatsuka M, Takashima M, et al.	顎口腔インプラント治療部	Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A randomized crossover comparison of removing or not removing the superstructure.	J Prosthodont Res. 2021 Feb 24;65(1):91-96	Original Article
3	Kensuke Yoshida	顎顔面口腔外科	Evaluation of optimal short-term amoxicillin use for impacted lower third molar removal.	J Infect Chemother.2021 Feb;27(2):192-7.	Original Article
4	Okawa J, Hori K, Yoshimoto T, et al.	義歯診療科	Higher Masticatory Performance and Higher number of chewing strokes increase retronasal aroma.	Front Nutr. 2021 Mar; 8: Article 623507 (オンライン)	Original Article
5	Hasegawa Y, Sakuramoto- Sadakane A, Nagai K, et al.	義歯診療科	Does oral hypofunction promotes social withdrawal in the older adults? a longitudinal survey of elderly subjects in rural Japan	Int J Environ Res Public Health. 2020 Nov; 17(23):8904,	Original Article

小計 5件

6	Kikuchi S, Hasegawa Y, Salazar S, et al.	義歯診療科	Factors influencing changes in masticatory performance as a result of wearing removable partial dentures in patients with partially edentulous arches.	J Prosthodont. 2020 Sep; 30(2):150-156	Original Article
7	Uehara F, Hori K, Murakami K, et al.	義歯診療科	Differentiation of feeding behaviors based on masseter and supra-hyoid muscle activity.	Front Physiol. 2020 Jul; 11: Article 618 (オンライン)	Original Article
8	Okawa J, Hori K, Fujiwara S, et al.	義歯診療科	Estimation of pharyngeal residue after swallowing retronasal aroma.	J Oral Rehabil. 2020 Apr; 47(7): 880-888	Original Article
9	Suzuki T, Miyoshi H, Shimono J, et al.	血液・内分泌代謝内科	Clinicopathological analysis of splenic red pulp low-grade B-cell lymphoma	Pathol Int. 70(5):280-286, 2020	Original Article
10	Matsubayashi Y, Yoshida A, Suganami H, et al.	血液・内分泌代謝内科	Association of increased hepatic insulin clearance and change in serum triglycerides or beta-hydroxybutyrate concentration via the sodium/glucose-cotransporter 2 inhibitor tofogliflozin.	Diabet Obes Metab. 22(6):947-956, 2020	Original Article
11	Furukawa K, Suzuki T, Ishiguro H, et al.	血液・内分泌代謝内科	Prevention of postprandial hypotension-related syncope by caffeine in a patient with long-standing diabetes mellitus.	Endocr J. 67(6):585-592, 2020	Original Article

小計 6件

12	Uemura S, Kobayashi H, Seki Y, et al.	血液・内分泌代謝内科	Successful Treatment with Edoxaban for Disseminated Intravascular Coagulation in a Case of Aortic Dissection Complicated with Immune Thrombocytopenic Purpura.	Intern Med. 59(16):2035-2039, 2020	Original Article
13	Yaguchi Y, Fujihara K, Yamada MH, et al.	血液・内分泌代謝内科	Skipping breakfast, late-night eating and current smoking are associated with medication adherence in Japanese patients with diabetes.	Prim Care Diabetes. 14(6):753-759, 2020	Original Article
14	Fuse K, Tanaka T, Shibasaki Y, et al.	血液・内分泌代謝内科	Marker chromosome is a strong poor prognosis factor after allogeneic HSCT for adverse-risk AML patients.	Eur J Haematol. 105(5):616-625, 2020	Original Article
15	Kodama S, Fujihara K, Horikawa C, et al.	血液・内分泌代謝内科	Diabetes mellitus and risk of new-onset and recurrent heart failure: a systematic review and meta-analysis.	ESC Heart Fail. 7(5):2146-2174, 2020	Original Article
16	Kaihatsu A, Fuse K, Sone H, et al.	血液・内分泌代謝内科	Hypertrophic pachymeningitis associated with myelodysplastic syndrome.	eJHaem. 1(1):12-13, 2020	Others
17	Mitobe M, Kawamoto K, Suzuki T, et al.	血液・内分泌代謝内科	DA-EPOCH-R therapy for high-grade B-cell lymphoma with MYC and BCL2 and/or BCL6 rearrangements in a patient with renal dysfunction.	J Clin Exp Hematop. 61(1):42-47, 2021	Original Article

小計 6件

18	Fujihara K, Matsubayashi Y, Yamada HM, et al.	血液・内分泌代謝内科	Machine Learning Approach to Decision Making for Insulin Initiation in Japanese Patients With Type 2 Diabetes (JDDM 58): Model Development and Validation Study	JMIR Med Inform. 9(1):e22148, 2021(オンライン)	Original Article
19	Suwabe T, Shibasaki Y, Sato H, et al.	魚沼地域医療教育センター	WT1-specific CD8 + cytotoxic T cells with the capacity for antigen-specific expansion accumulate in the bone marrow in MDS.	Int J Hematol. 113(5):723-734, 2021	Original Article
20	Seki Y, Nagano O, Koda R, et al.	血液・内分泌代謝内科	Pathological findings suggesting vascular endothelial damage in multiple organs in chronic myelogenous leukemia patients on long-term tyrosine kinase inhibitor therapy	Int J Hematol. 112(4):584-591, 2020	Case report
21	Watanabe S, Ota T, Hayashi M, et al.	呼吸器・感染症内科	Prognostic significance of the radiologic features of pneumonitis induced by anti-PD-1 therapy.	Cancer Med. 2020 May;9(9):3070-3077.	Original Article
22	Watanabe S, Kikuchi T	呼吸器・感染症内科	Does the gut microbiota play a key role in PD-1/PD-L1 blockade therapy?	Transl Lung Cancer Res. 2020 Jun;9(3):438-440.	Others
23	Koya T, Kimura Y, Hayashi M, et al.	呼吸器・感染症内科	The impact of mepolizumab on the sputum level of eosinophil-derived protein in three cases of severe asthma	Allergol Int. 2020 Oct;69(4):639-641.	Letter

小計 6件

24	Takada T, Asakawa K, Barrios R.	呼吸器・感染症内科	A Japanese-American female with rapidly progressive interstitial lung disease associated with clinically amyopathic dermatomyositis	Clin Rheumatol. 2021 Mar;40(3):1159-1165.	Review
25	Koya T, Ueno H, Hasegawa T, et al.	呼吸器・感染症内科	Management of Exercise-Induced Bronchoconstriction in Athletes	J Allergy Clin Immunol Pract. 2020 Jul-Aug;8(7):2183-2192.	Review
26	Kikuchi T	呼吸器・感染症内科	COVID-19 outbreak: An elusive enemy	Respir Investig. 2020 Jul;58(4):225-226	Others
27	Terumoto Koike, Akihiro Nakamura, Yuki Shimizu, et al.	呼吸器外科	Characteristics and risk factors of recurrence in clinical stage I non-small cell lung cancer patients undergoing anatomic segmentectomy	General Thoracic and Cardiovascular Surgery 68(9):1011-1017, 2020	Original Article
28	Terumoto Koike, Seijiro Sato, Masanori Tsuchida	呼吸器外科	A novel suture technique in closing the single drainage tube hole in uni-portal video-assisted thoracoscopic surgery	Annals of Translational Medicine 8(7)424-426, 2020	Others
29	Terumoto Koike, Tatsuya Goto, Seijiro Sato, et al.	呼吸器外科	Radical segmentectomy as a potential alternative surgical treatment with curative intent in early-stage non-small cell lung cancer	Journal of Thoracic Disease 12(10):6115-6119,	Others

小計 6件

30	Ai Sugimoto, Kiyohiro Takigiku, Shuichi Shiraishi, et al.	呼吸器外科	Adverse impact of univentricular pacing for the patient with functional single ventricle: successful conversion to cardiac resynchronization therapy	Surgical Case Reports 2020 13;6(1): 101	Case report
31	Wataru Katagiri, Satoshi Endo, Ryoko Takeuchi, et al.	口腔再建外科	Conditioned medium from mesenchymal stem cells improves condylar resorption induced by mandibular distraction osteogenesis in a rat model.	Heliyon. 2021 Mar ;7(3),オンライン	Original Article
32	Yachida N, Yoshihara K, Suda K, et al.	産科婦人科	ARID1A protein expression is retained in ovarian endometriosis with ARID1A loss-of-function mutations: implication for the two-hit hypothesis.	Sci Rep. 2020 Aug 31;10(1):14260.	Original Article
33	Suda K, Cruz Diaz LA, Yoshihara K, et al.	産科婦人科	Clonal lineage from normal endometrium to ovarian clear cell carcinoma through ovarian endometriosis.	Cancer Sci. 2020 Aug;111(8):3000-3009.	Original Article
34	Yoshihara K, Enomoto T, Aoki D, et al.	産科婦人科	Association of gBRCA1/2 mutation locations with ovarian cancer risk in Japanese patients from the CHARLOTTE study.	Cancer Sci. 2020 Sep;111(9):3350-3358.	Original Article
35	Tamura R, Yoshihara K, Nakaoka H, et al.	産科婦人科	XCL1 expression correlates with CD8-positive T cells infiltration and PD-L1 expression in squamous cell carcinoma arising from mature cystic teratoma of the ovary.	Oncogene. 2020 Apr;39(17):3541-3554.	Original Article

小計 6件

36	Sekine M, Yamaguchi M, Kudo R, et al.	産科婦人科	Epidemiologic Profile of Type-Specific Human Papillomavirus Infection after Initiation of HPV Vaccination.	Vaccines (Basel). 2020 Jul 29;8(3):425.	Original Article
37	Sekine M, Kudo R, Yamaguchi M, et al.	産科婦人科	Japan's Ongoing Crisis on HPV Vaccination.	Vaccines (Basel). 2020 Jul 6;8(3):362.	Original Article
38	Sugai S, Nishijima K, Enomoto T.	産科婦人科	Management of Condyloma Acuminata in Pregnancy: A Review.	Sex Transm Dis. 2020 Oct 21.	Review
39	Isobe M, Kataoka Y, Chikazawa K, et al.	産科婦人科	The number of overall hysterectomies per population with the perimenopausal status is increasing in Japan: A national representative cohort study.	J Obstet Gynaecol Res. 2020 Oct 7 (オンライン).	Original Article
40	Isobe M, Kataoka Y, Chikazawa K, et al.	産科婦人科	Correlation between the number of laparoscopy-qualified gynecologists and the proportion of laparoscopic surgeries for benign gynecological diseases in Japan: An ecological study.	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Jan;47(1):329-336.	Original Article
41	Yachida N, Yoshihara K, Yamaguchi M, et al.	産科婦人科	How Does Endometriosis Lead to Ovarian Cancer? The Molecular Mechanism of Endometriosis-Associated Ovarian Cancer Development.	Cancers (Basel). 2021 Mar 22;13(6):1439.	Review

小計 6件

42	Yamaguchi M, Yoshihara K, Suda K, et al.	産科婦人科	Three-dimensional understanding of the morphological complexity of the human uterine endometrium.	iScience. 2021 Mar 2;24(4):102258.	Original Article
43	Takahashi K, Nishijima K, Yamaguchi M, et al.	産科婦人科	Noninvasive positive-pressure ventilation in pregnancy to treat acute pulmonary edema induced by tocolytic agents: a case report.	J Med Case Rep. 2021 Mar 21;15(1):126.	Case report
44	Ueda H, Mori Y, Yamawaki K, et al.	産科婦人科	Establishment of in vitro 3D spheroid cell cultivation from human gynecologic cancer tissues.	STAR Protoc. 2021 Feb 18;2(1):100354.	Original Article
45	Yamaguchi M, Sekine M, Hanley SJB, et al.	産科婦人科	Risk factors for HPV infection and high-grade cervical disease in sexually active Japanese women.	Sci Rep. 2021 Feb 3;11(1):2898.	Original Article
46	Kudo R, Sekine M, Yamaguchi M, et al.	産科婦人科	Internet Survey of Awareness and Behavior Related to HPV Vaccination in Japan.	Vaccines (Basel). 2021 Jan 25;9(2):87.	Original Article
47	Akashi E, Ishiguro T, Nonaka T, et al.	産科婦人科	Enlarged uterine fibroid forming uterine diverticulum during pregnancy: a case report.	BMC Pregnancy Childbirth. 2021 Jan 7;21(1):34.	Case report

小計 6件

48	Yoshihara N, Edanami N, Ohkura N, et al.	歯の診療科	M2 Phenotype Macrophages Colocalize with Schwann Cells in Human Dental Pulp.	J Dent Res. 2020 Mar; 99(3):329-338.	Original Article
49	Ohsumi T, Takenaka S, Sakaue Y, et al.	歯の診療科	Adjunct use of mouth rinses with a sonic toothbrush accelerates the detachment of a Streptococcus mutans biofilm: an in vitro study.	BMC Oral Health. 2020 Jun 3;20(1):161.	Original Article
50	Edanami N, Yoshihara K, Shirakashi M, et al.	歯の診療科	Impact of remnant healthy pulp and apical tissue on outcomes after simulated regenerative endodontic procedure in rat molars.	Sci Rep. 2020 Dec 1;10(1) (オンライン).	Original Article
51	Nagata R, Ohsumi T, Takenaka S, et al.	歯の診療科	Current Prevalence of Oral Helicobacter pylori among Japanese Adults Determined Using a Nested Polymerase Chain Reaction Assay.	Pathogens. 2020 Dec 24;10(1):10.	Original Article
52	Naksagoon T, Ohsumi T, Takenaka S, et al.	歯の診療科	Effect of water aging on the anti-biofilm properties of glass ionomer cement containing fluoro-zinc- silicate fillers.	Biofouling. 2020 Oct;36(9):1090-1099.	Original Article
53	Katsura K, Soga Y, Zenda S, et al.	歯科放射線科	A cost-minimization analysis of measures against metallic dental restorations for head and neck radiotherapy.	J Radiat Res . 2021 Mar 10;62(2):374-378	Original Article

小計 6件

54	Kishimoto N, Saida L, Takino H, et al.	齒科麻醉科	Tele-monitoring and tele-sedation for systemic management during dental treatment. for systemic management during dental treatment.	Journal of Dental Sciences. 2020;15(2):230-231.	Original Article
55	Takahashi K, Morita Y, Aizawa N, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Patient-specific 3D printed model-assisted supracochlear approach to the petrous apex.	Otol Neurotol. 2020.09; 41(8): e1041-e1045	Case report
56	Morita Y, Sasaki T, Takahashi K, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	IN RESPONSE TO THE LETTER TO THE EDITOR: AGE-RELATED HEARING LOSS IS STRONGLY ASSOCIATED WITH COGNITIVE DECLINE REGARDLESS OF THE APOE4 POLYMORPHISM.	Otol Neurotol. 2020.06; 41(5): 718-719	Original Article
57	Morita Y, Kitazawa M, Yagi C, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Tympanic membrane findings of otitis media with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis (OMAAV).	Auris Nasus Larynx. 2020.10; 47(5): 740-746	Original Article
58	Morita Y, Takahashi K, Ohshima S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Is vestibular Meniere's disease associated with endolymphatic hydrops?	Frontier in Surgery. 2020.12; 7:601692	Original Article
59	Yamagishi T, Ohshima S, Yagi C, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Nerve integrity monitor responses to direct facial nerve stimulation during facial nerve decompression surgery can predict postoperative outcomes.	Otol Neurotol. 2020.06; 41(5):704-708	Original Article

小計 6件

60	Ueki Y, Takahashi T, Ota H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Role of programmed death-ligand 1 in predicting the treatment outcome of salvage chemotherapy after nivolumab in recurrent/metastatic head and neck squamous cell carcinoma.	Head Neck. 2020.07; 42: 3275-3281	Original Article
61	Ueki Y, Takahashi T, Ota H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Predicting the treatment outcome of nivolumab in recurrent or metastatic head and neck squamous cell carcinoma; prognostic value of combined performance status and modified Glasgow prognostic score.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2020.08; 277(8): 2341-2347	Original Article
62	Kubota N, Ozaki K, Hoyano M, et al.	循環器内科	Long-Term Prognosis of Patients Who Underwent Percutaneous Transvenous Mitral Commissurotomy for Mitral Stenosis.	Int Heart J. 2020 Nov 28;61(6):1183-1187.	Others
63	Kubota N, Ozaki K, Hakamata T, et al.	循環器内科	Angioscopic findings of organized thrombosis of iliac vein in patient with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Cardiovasc Interv Ther.2020; Oct 27.: Online ahead of print.	Original Article
64	Kubota N, Ozaki K, Hoyano M, et al.	循環器内科	Angioscopic Findings of Deep Vein Thrombosis Treated by Balloon Angioplasty With Catheter-Directed Thrombolysis.	Circ J . 2020 Nov 25;84(12):2320.	Original Article
65	Otsuki S, Izumi D, Hasegawa Y, et al.	循環器内科	Suppression of cardiac memory-related severe form of torsades de pointes by landiolol in a patient with congenital long QT syndrome type 2.	Heart Rhythm Case Rep. . 2020 Apr 6;6(7):407-410.	Case report

小計 6件

66	Sakai R, Ozaki K, Yamaguchi Y, et al.	循環器内科	Pulmonary Artery Sarcoma Diagnosed Using an Endovascular Catheter Forceps Biopsy.	Intern Med. . 2020 Sep 1;59(17):2149-2153.	Original Article
67	Saitoh O, Oikawa A, Sugai A, et al.	循環器内科	Impedance decrement indexes for avoiding steam-pop during bipolar radiofrequency ablation: An experimental study using a dual-bath preparation	J Cardiovasc Electrophysiol.,2020 Dec;31(12):3302-3310.	Original Article
68	Saitoh O, Watanabe J, Sugai A, et al.	循環器内科	Bepridil Inhibits Premature Ventricular Complexes Induced by Cardio-Sympathetic Nerve Stimulation in a Canine Experimental Model.	Int Heart J2020 Mar 28;61(2):338-346.	Others
69	Chinushi M, Furushima H, Saitoh O, et al.	循環器内科	Patient-by-patient basis anti-tachycardia pacing for fast ventricular tachycardia with structural heart diseases.	Pacing Clin Electrophysiol,2020 Sep;43(9):983-991.	Original Article
70	Otsuki S, Aiba T, Tahara Y, et al.	循環器内科	Intra-day change in occurrence of out-of-hospital ventricular fibrillation in Japan: The JCS-ReSS study.	Int J Cardiol . 2020 Nov 1;318:54-60.	Original Article
71	Takano T, Ozaki K, Hoyano M, et al.	循環器内科	Angioscopic Findings during Balloon Pulmonary Angioplasty in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension.	Cardiovasc Interv Ther.2020; 35: 421-422.	Original Article

小計 6件

72	Kubota N, Ozaki K, Hoyano M, et al.	循環器内科	Angioscopic Findings of Deep Vein Thrombosis Treated by Balloon Angioplasty with Catheter-Directed Thrombolysis.	Circ J. 2020 Nov 25;84(12):2320.	Original Article
73	Kubota N, Ozaki K, Tanabe Y, et al.	循環器内科	Usefulness of Repeat Angiography to Establish Spontaneous Coronary Artery Dissection in Small Vessels.	Circ Rep,2020 Oct 29;2(12):739-743.	Original Article
74	Fujiki S, Iijima K, Okabe M, et al.	循環器内科	Placebo-Controlled, Double-Blind Study of Empagliflozin (EMPA) and Implantable Cardioverter-Defibrillator (EMPAICD) in Patients with Type 2 Diabetes (T2DM): Rationale and Design	Diabetes Ther. 2020 Nov;11(11):2739-2755	Original Article
75	Keisuke Nagasaki and Kenichi Kinjo* * contributed equally	小児科	Rare variant of the epigenetic regulator SMCHD1 in a patient with pituitary hormone deficiency	Sci Rep. 2020 Jul;10:10985.	Case report
76	Keisuke Nagasaki	小児科	Foetal virilisation caused by overproduction of non-aromatisable 11-oxygenated C19 steroids in maternal adrenal tumour	Hum Reprod 2020 Nov; 35:2609-2612	Case report
77	Keisuke Nagasaki	小児科	A Japanese Family with DICER1 Syndrome Found in Childhood-Onset Multinodular Goitre	Horm Res Paediatr 2020; 93:477-482	Case report

小計 6件

78	Keisuke Nagasaki	小児科	Investigation of TSH receptor blocking antibodies in childhood-onset atrophic autoimmune thyroiditis	Clin Pediatr Endocrinol 2021; 30:79-84	Original Article
79	Kasahara Y, Imamura M, Shin C, et al.	小児科	Fatal Progressive Meningoencephalitis Diagnosed in Two Members of a Family with X-linked Agammaglobulinemia.	Front. Pediatr. 2020. Sep 18; 8: 579.	Case report
80	Kasahara Y, Shin C, Kubo N, et al.	小児科	Development and characterisation of NKp44-based chimeric antigen receptors that confer T cells with NK cell-like specificity.	Clin Transl Immunology. 2020; 9(7): e1147.	Original Article
81	Kubo N, Iwabuchi H, Imamura M, et al.	小児科	Spontaneous remission of infant acute myeloid leukemia with a novel four-way translocation.	Pediatr Blood Cancer. 2020; 67(2): e28052.	Case report
82	Kobayashi T, Miura K, Kubota M, et al.	小児外科	Living donor liver transplantation for more than 30-year survived patients with native liver after Kasai operation for biliary atresia	Transplantation Reports. 2020;5(3):100052	Original Article
83	Sasakawa Y, Nakamura Y, Saitoh I, et al.	小児歯科	Lip-closing pressure during food intake from a spoon in normal children	J Oral Rehabil. 2021 Feb; 48(6):711-719	Original Article

小計 6件

84	Nogami Y, Saitoh I, Inada E, et al.	小児歯科	Prevalence of an incompetent lip seal during growth periods throughout Japan: a large-scale, survey-based, cross- sectional study	Environ Health Prev Med. 2021 Jan 21;26(1):11	Original Article
85	Suzuki A, Kodama Y, Miwa K, et al.	小児歯科	Manufacturing micropatterned collagen scaffolds with chemical- crosslinking for development of biomimetic tissue- engineered oral mucosa	Sci Rep. 2020 Dec 17;10(1)	Original Article
86	Kiyokawa Y, Sato M, Noguchi H, et al.	小児歯科	Drug-Induced Naïve iPS Cells Exhibit Better Performance than Primed iPS Cells with Respect to the Ability to Differentiate into Pancreatic $\beta$ -Cell Lineage	J Clin Med. 2020 Sep 2;9(9):2838	Original Article
87	Nakamura Y, Nakajima T, Sasakawa Y, et al.	小児歯科	Influence of food adhesivity and quantity in lip closing pressure	Physiol Behav. 2020 Feb 214(オンライン)	Original Article
88	Suzuki A, Kato H, Kawakami T, et al.	小児歯科	Development of microstructured fish scale collagen scaffolds to manufacture a tissue-engineered oral mucosa equivalent	J Biomater Sci Polym Ed . 2020 Apr;31(5):578-600	Original Article
89	Wakai T, Nagahashi M, Shimada Y, et al.	消化器・一般外科	Genetic analysis in the clinical management of biliary tract cancer	Ann Gastroenterol Surg. 2020 Apr;4(4):316-323	Review

小計 6件

90	Sakata J, Hirose Y, Prasoon P, et al.	消化器・一般外科	Clinicopathological Characteristics and Surgical Outcomes of Primary Cystic Duct Carcinoma: A Multi-institutional Study	World J Surg. 2020 Nov;44(11):3875-3883	Original Article
91	Miura K, Kobayashi T, Prasoon P, et al.	消化器・一般外科	Successful Surgical Intervention for Recurring Severe Hepatic Encephalopathy Caused by Portosystemic Collaterals After Living-Donor Liver Transplantation: A Case Report.	Transplant Proc. 2020 Jul-Aug;52(6):1953-1956	Case report
92	Kano Y, Ohashi M, Ida S, et al.	消化器・一般外科	Therapeutic value of splenectomy to dissect splenic hilar lymph nodes for type 4 gastric cancer involving the greater curvature, compared with other types	Gastric Cancer. 2020 Sep;23(5):927-936	Original Article
93	Sudo N, Ichikawa H, Muneoka Y, et al.	消化器・一般外科	ASO Author Reflections: ypTNM Stage Grouping in the 8th Edition of the AJCC Cancer Staging Manual Refines the Prognostic Prediction for Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy	Ann Surg Oncol. 2021 Feb;28(2):661-662	Others
94	Yuza K, Sakata J, Nagaro H, et al.	消化器・一般外科	A giant pelvic solitary fibrous tumor with Doege-Potter syndrome successfully treated with transcatheter arterial embolization followed by surgical resection: a case report	Surg Case Rep. 2020 Nov;6(1):299	Case report
95	Kobayashi T, Miura K, Saito K, et al.	消化器・一般外科	Inguinal Herniation After Living Donor Kidney Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. 2020 Jul-Aug;52(6):1940-1943	Case report

小計 5件

96	Kobayashi T, Miura K, Kubota M, et al.	消化器・一般外科	Living donor liver transplantation for more than 30-year survived patients with native liver after Kasai operation for biliary atresia	Transplantation Reports 2020 Sep;5(3):100052	Original Article
97	Hirose Y, Sakata J, Kobayashi T, et al.	消化器・一般外科	NQO1 as a Marker of Chemosensitivity and Prognosis for Colorectal Liver Metastasis	Anticancer Res. 2021 Mar;41(3):1563-1570	Original Article
98	Watanabe Y, Tsuchiya A, Terai S.	消化器内科	The development of mesenchymal stem cell therapy in the present, and the perspective of cell-free therapy in the future.	Clin Mol Hepatol. 2021 Jan;27(1):70-80. Dec 3.	Review
99	Takamura M, Matsuda Y, Kimura N, et al.	消化器内科	Niigata PBC Study Group. Changes in disease characteristics of primary biliary cholangitis: An observational retrospective study from 1982 to 2016	Hepatol Res. 2021 Feb;51(2):166-175	Original Article
100	Kamimura H, Watanabe J, Sugano T, et al.	消化器内科	Relationship between detection of hepatitis B virus in saliva and periodontal disease in hepatitis B virus carriers in Japan	J Infect Chemother. 2021 Mar;27(3):492-496	Original Article
101	Morita S, Sugawara S, Suda T, et al.	消化器内科	Transcatheter Arterial Embolization Using Microspheres for Palliating Pain from Bone Metastasis in a Patient with Cholangiocellular Carcinoma.	Intern Med. 2021Jan 15;60(2):241-246	Case report

小計 6件

102	Kimura N, Tsuchiya A, Oda C, et al.	消化器内科	Visceral Adipose Tissue Index and Hepatocellular Carcinoma Are Independent Predictors of Outcome in Patients with Cirrhosis Having Endoscopic Treatment for Esophageal Varices.	Dig Dis. 2021;39(1):58-65.	Original Article
103	Sakai N, Kamimura K, Terai S.	消化器内科	Multiple Tumor-Like Fatty Changes in the Liver Disappeared After Hepatitis C Virus Eradication With Direct-Acting Antiviral Treatment.	Am J Gastroenterol. 2021 Feb 1;116(2):237	Case report
104	Kamimura H, Sato T, Natsui K, et al.	消化器内科	Molecular Mechanisms and Treatment of Sarcopenia in Liver Disease: A Review of Current Knowledge.	IntJ Mol Sci. 2021 Jan 31;22(3)	Review
105	Takahashi K, Sato H, Mizusawa T, et al.	消化器内科	Comparison of Oral and Esophageal Microbiota in Patients with Achalasia Before and After Peroral Endoscopic Myotomy.	Turk J Gastroenterol. 2021 Jan;32(1):42-52	Original Article
106	Ko M, Kamimura K, Owaki T, et al.	消化器内科	Modulation of serotonin in the gut-liver neural axis ameliorates the fatty and fibrotic changes in non-alcoholic fatty liver.	Dis Model Mech. 2021 Mar;28;14(3)	Original Article
107	Morita S, Yagi K, Hoshi T, et al.	消化器内科	Endoscopic retrieval of multiple sewing needles by using the tip of a magnetic tube.	VideoGIE. 2021 Feb 24;6(5):228-230	Original Article

小計 6件

108	Kamimura K, Suda T, Fukuhara Y, et al.	消化器内科	Adipose most abundant 2 protein is a predictive marker for cisplatin sensitivity in cancers.	Sci Rep. 2021 Mar 18;11(1):6255	Original Article
109	Terai S, Buchanan-Hughes A, Ng A, et al.	消化器内科	Comorbidities and healthcare costs and resource use of patients with nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD) and nonalcoholic steatohepatitis (NASH) in the Japan medical data vision database.	J Gastroenterol. 2021 Mar;56(3):274-284.	Original Article
110	Kamimura H, Iwasaki T, Hayashi K, et al.	消化器内科	Rare paraneoplastic syndromes in digestive systems caused by lung cancer.	BMJ Case Rep. 2021 Feb 5;14(2):e240161.	Case report
111	Takeuchi S, Tsuchiya A, Iwasawa T, et al.	消化器内科	Small extracellular vesicles derived from interferon- $\gamma$ pre-conditioned mesenchymal stromal cells effectively treat liver fibrosis.	NPJ Regen Med. 2021 Mar 30;6(1):19.	Original Article
112	Kamimura H, Kamimura K, Tsuchiya A, et al.	消化器内科	Successful treatment of positive-sense RNA virus coinfection with autoimmune hepatitis using double filtration plasmapheresis.	BMJ Case Rep. 2021 Mar 25;14(3):e236984.	Case report
113	Tsuchiya A, Takeuchi S, Iwasawa T, et al.	消化器内科	Therapeutic potential of mesenchymal stem cells and their exosomes in severe novel coronavirus disease 2019 (COVID-19) cases.	Inflamm Regen. 2020 Jun 22;40:14.	Review

小計 6件

114	Watanabe T, Tsuchiya A, Takeuchi S, et al.	消化器内科	Development of a non-alcoholic steatohepatitis model with rapid accumulation of fibrosis, and its treatment using mesenchymal stem cells and their small extracellular vesicles.	Regen Ther. 2020 May 15;14:252-261.	Original Article
115	Tominaga K, Tsuchiya A, Sato H, et al.	消化器内科	Rare case of circumferential esophageal peeling.	Clin Case Rep. 2020 Apr 13;8(7):1306-1308.	Case report
116	Ishii Y, Tsuchiya A, Hayashi K, et al.	消化器内科	Pancreas Gas Gangrene Caused by Klebsiella pneumoniae.	Intern Med. 2020 Nov 15;59(22):2963-2964.	Case report
117	Tominaga K, Kamimura K, Sato H, et al.	消化器内科	Cytapheresis for pyoderma gangrenosum associated with inflammatory bowel disease: A review of current status.	World J Clin Cases. 2020 Jun;8(11):2092-2101.	Review
118	Ishii Y, Sato H, Terai S.	消化器内科	Rare case of gastric perforation due to ischemic gastropathy.	Gastrointest Endosc. 2020 Dec;92(6):1266-1268.	Case report
119	Morita S, Suda T, Kishi Y, et al.	消化器内科	Synchronous Double Bile Duct Cancers with Distinct Genetic Features.	Intern Med. 2020 Sep 1;59(17):2129-2134.	Case report

小計 6件

120	Kimura A, Hayashi K, Oda C, et al.	消化器内科	Effectiveness of Endoscopic Pancreatic Stenting for Pancreatic Pseudocyst- Portal Vein Fistula.	Case Rep Gastroenterol. 2020 Oct 30;14(3):570-576.	Case report
121	Tominaga K, Tsuchiya A, Mizusawa T, et al.	消化器内科	Evaluation of intestinal microbiota, short-chain fatty acids, and immunoglobulin a in diversion colitis.	Biochem Biophys Rep. 2020 Dec 30;25:100892.	Original Article
122	Arao Y, Kawai H, Kamimura K, et al.	消化器内科	Effect of methionine/choline- deficient diet and high- fat diet-induced steatohepatitis on mitochondrial homeostasis in mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Jun 25;527(2):365-371.	Original Article
123	Ogawa M, Tsuchiya A, Watanabe T, et al.	消化器内科	Screening and follow-up of chronic liver diseases with understanding their etiology in clinics and hospitals.	JGH Open. 2020 Aug 24;4(5):827-837.	Original Article
124	Kamimura H, Yokoyama K, Nojiri S, et al.	消化器内科	Monitoring chronological change by liver-to-spleen attenuation ratio for secondary hepatic steatosis for a short term.	Clin J Gastroenterol. 2020 D+B31ec;13(6):1219-1224.	Case report
125	Ikarashi S, Kawai H, Hayashi K, et al.	消化器内科	Risk factors for walled- off necrosis associated with severe acute pancreatitis: A multicenter retrospective observational study.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Nov;27(11):887-895.	Original Article

小計 6件

126	Yoshida T, Tsuchiya A, Kumagai M, et al.	消化器内科	Blocking sphingosine 1-phosphate receptor 2 accelerates hepatocellular carcinoma progression in a mouse model of NASH.	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Oct 1;530(4):665-672.	Original Article
127	Tominaga K, Tsuchiya A, Sato H, et al.	消化器内科	Esophageal Ulcers Associated with Ulcerative Colitis: A Case Series and Literature Review.	Intern Med. 2020 Aug 15;59(16):1983-1989.	Review
128	Natsui K, Tsuchiya A, Terai S.	消化器内科	Refractory hemorrhagic esophageal ulcers by Candida esophagitis with advanced systemic sclerosis.	JGH Open. 2020 May 12;4(5):1007-1008.	Case report
129	Nagoya T, Kamimura K, Inoue R, et al.	消化器内科	Ghrelin-insulin-like growth factor-1 axis is activated via autonomic neural circuits in the non-alcoholic fatty liver disease.	Neurogastroenterol Motil. 2020 May;32(5):e13799.	Original Article
130	Sakamaki A, Yokoyama K, Koyama K, et al.	消化器内科	Obesity and accumulation of subcutaneous adipose tissue are poor prognostic factors in patients with alcoholic liver cirrhosis.	PLoS One. 2020 Nov 17;15(11):e0242582.	Original Article
131	Ohkoshi-Yamada M, Kamimura K, Shibata O, et al.	消化器内科	Efficacy and Safety of the Radiotherapy for Liver Cancer: Assessment of Local Controllability and its Role in Multidisciplinary Therapy.	Cancers (Basel). 2020 Oct 13;12(10):2955.	Original Article

小計 6件

132	Morita S, Sugawara S, Suda T, et al.	消化器内科	Stent Placement for Malignant Inferior Vena Cava Syndrome in a Patient with Recurrent Colon Cancer.	Intern Med. 2020 Nov 15;59(22):2885-2890.	Case report
133	Takamura M, Sakamaki A, Arao Y, et al.	消化器内科	Daily Monitoring of Serum Wisteria floribunda Agglutinin-Positive Mac-2 Binding Protein Is Useful for Predicting Therapeutic Effect of Tolvaptan in Cirrhotic Ascites.	Tohoku J Exp Med. 2020 Dec;252(4):287-296.	Original Article
134	Tomiyoshi K, Sato H, Tominaga K, et al.	消化器内科	Rare Genotype of His/His in NUDT15 Codon 139 and Thiopurine-associated Adverse Events in a Case of Ulcerative Colitis.	Intern Med. 2020 Jul 1;59(13):1611-1613.	Case report
135	Kimura N, Tsuchiya A, Oda C, et al.	消化器内科	Portal Vein Thrombosis Associated with Trousseau Syndrome due to Urinary Bladder Squamous Cell Carcinoma in a Liver Cirrhosis Patient.	Intern Med. 2020 Aug 15;59(16):1971-1975.	Case report
136	Sakamaki A, Yokoyama K, Yamazaki F, et al.	消化器内科	Small Intestinal Bacterial Overgrowth Diagnosed by a Breath Test and Improved by Rifaximin in a Patient with Hepatic Encephalopathy and Alcoholic Liver Cirrhosis.	Intern Med. 2020 Aug 1;59(15):1849-1853.	Case report
137	Tanaka Y, Kamimura K, Nakamura R, et al.	消化器内科	Usefulness of ultrasonography to assess the response to steroidal therapy for the rare case of type 2b immunoglobulin G4-related sclerosing cholangitis without pancreatitis: A case report.	World J Clin Cases. 2020 Nov 26;8(22):5821-5830.	Case report

小計 6件

138	Minako Wakasugi, Ichiei Narita	腎・膠原病内科	Lifetime and age-conditional risk estimates of end-stage kidney disease requiring maintenance dialysis in Japan	Clin Exp Nephrol. 2020 Jun;24(6):518-525	Original Article
139	Minako Wakasugi, Masaaki Nagai, Saori Yokota, et al.	腎・膠原病内科	The Association Between Earlobe Creases and Cardiovascular Events in Japanese Hemodialysis Patients: A Prospective Cohort Study.	Intern Med. 2020 Apr 1;59(7):927-932	Original Article
140	Keiko Kabasawa, Junta Tanaka, Kazutoshi Nakamura, et al.	腎・膠原病内科	Study Design and Baseline Profiles of Participants in the Unuma CKD Cohort Study in Niigata, Japan	J Epidemiol. 2020 Apr 5;30(4):170-176	Original Article
141	Hiroe Sato, Chinatsu Takai, Junichiro James Kazama, et al.	腎・膠原病内科	Serum hepcidin level, iron metabolism and osteoporosis in patients with rheumatoid arthritis	Sci Rep. 2020 Jun 18;10(1):9882	Original Article
142	Hiroki Maruyama, Atsumi Taguchi, Mariko Mikame, et al.	腎・膠原病内科	Low bone mineral density due to secondary hyperparathyroidism in the <i>Gla<sup>tm</sup> Tg(CAG-A4GALT)</i> mouse model of Fabry disease	FASEB Bioadv. 2020 Jun 10;2(6):365-381	Original Article
143	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Atsushi Wada, et al.	腎・膠原病内科	Lifetime and age-conditional risk estimates of end-stage kidney disease requiring maintenance dialysis in Japan	Clin Exp Nephrol. 2020 Jun;24(6):518-525	Original Article

小計 6件

144	Tomomi Ishikawa-Tanaka, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa, et al.	腎・膠原病内科	Effects of DPP-4 Inhibitors on Blood Glucose Variability in Japanese Patients with Type 2 Diabetes on Maintenance Hemodialysis: A Prospective Observational Exploratory Study	Diabetes Ther. 2020 Dec;11(12):2845-2861	Original Article
145	Eriko Hasegawa, Daisuke Kobayashi, Yoichi Kurosawa, et al.	腎・膠原病内科	Nutritional status as the risk factor of serious infection in patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol. 2020 Nov;30(6):982-989	Original Article
146	Ichiei Narita	腎・膠原病内科	Estimating Growth Rate by a Single Measurement of Kidney Volume in ADPKD	Kidney Int Rep. 2020 Jul 10;5(9)	Review
147	Hiroe Sato, Satoshi Ito, Kiyoshi Nakazono, et al.	腎・膠原病内科	False-positive semiquantitative immunochromatography assays for procalcitonin in three patients with rheumatoid arthritis-A case series	Clin Case Rep. 2020 Jun 11;8(9):1704-1707	Case report
148	Ryo Koda, Masafumi Tsuchida, Noriaki Iino, et al.	腎・膠原病内科	Glomerular involvement in disseminated nontuberculous mycobacterium infection	Kidney Int. 2020 Oct;98(4):1055	Case report
149	Takuya Wakamatsu, Yoshiko Iwasaki, Suguru Yamamoto, et al.	腎・膠原病内科	Type I Angiotensin II Receptor Blockade Reduces Uremia-Induced Deterioration of Bone Material Properties	J Bone Miner Res. 2021 Jan;36(1):67-79	Original Article

小計 6件

150	Hiroki Yamaguchi, Shin Goto, Nao Takahashi, et al.	腎・膠原病内科	Aberrant mucosal immunoreaction to tonsillar microbiota in immunoglobulin A nephropathy	Nephrol Dial Transplant. 2021 Jan 1;36(1):75-86	Original Article
151	Suguru Yamamoto, Kenichi Sasahara, Mio Doman, et al.	腎・膠原病内科	pH-Dependent Protein Binding Properties of Uremic Toxins In Vitro	Toxins (Basel). 2021 Feb 4;13(2):116	Original Article
152	Hiroe Sato, Chinatsu Takai, Naoki Kondo, et al.	腎・膠原病内科	Cumulative incidence of femoral localized periosteal thickening (beaking) preceding atypical femoral fractures in patients with rheumatoid arthritis	Osteoporos Int. 2021 Feb;32(2):363-375	Original Article
153	Yuta Yoshizawa, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa, et al.	腎・膠原病内科	Effects of the Once-Weekly DPP4 Inhibitor Omarigliptin on Glycemic Control in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus on Maintenance Hemodialysis: A 24-Week Open-Label, Multicenter Randomized Controlled Study	Diabetes Ther. 2021 Mar;12(3):655-667	Original Article
154	Ayako Wakamatsu, Hiroe Sato, Yoshikatsu Kaneko, et al.	腎・膠原病内科	Association of coexisting anti-ribosomal P and anti-dsDNA antibodies with histology and renal prognosis in lupus nephritis patients	Lupus. 2021 Mar;30(3):448-458	Original Article
155	Suguru Yamamoto, Douglas S Fuller, Hirotaka Komaba, et al.	腎・膠原病内科	Serum total indoxyl sulfate and clinical outcomes in hemodialysis patients: results from the Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study	Clin Kidney J. 2020 Jul 31;14(4):1236-1243	Original Article

小計 6件

156	Watanabe Y, Kondo N, Fukuhara T, et al.	整形外科	Histopathological Finding of Microdamage Accumulation in Atypical Subtrochanteric Femoral Fracture.	Case Rep Orthop. 2021 Mar 20;2021:6624414	Case report
157	Minato K, Hirano T, Kawashima H, et al.	整形外科	Minimally Invasive Spinal Stabilization with Denosumab before Total Spondylectomy for a Collapsing Lower Lumbar Spinal Giant Cell Tumor.	Acta Med Okayama. 2021 Feb;75(1):95-101.	Case report
158	Imai N, Funayama K, Suzuki H, et al.	整形外科	Formulas for estimating living stature based on bony pelvic measurements reconstructed from computed tomography images.	Homo. 2021 Mar 21;72(1):33-40.	Original Article
159	Tsuchiya J, Kondo N, Fujimoto A, et al.	整形外科	Seronegative Oligoarthritis Preceding Psoriasis by 9.5 Years.	Acta Med Okayama. 2020 Oct;74(5):449-453.	Case report
160	Imai N, Suzuki H, Sakagami A, et al.	整形外科	Correlation of the anatomical sacral slope with pelvic incidence in female patients with developmental hip dysplasia: a retrospective cross- sectional study.	J Orthop Surg Res. 2020 Oct 21;15(1):486.	Original Article
161	Kondo N, Mizouchi T, Kubota K, et al.	整形外科	A case of advanced ankylosing spondylitis complicated with cervical myelopathy due to ossification of yellow ligament in which bone histomorphometry demonstrated delayed calcification.	Mod Rheumatol Case Rep. 2020 Jul;4(2):186-191.	Case report

小計 6件

162	Kondo N, Miyasaka D, Watanabe Y, et al.	整形外科	Atypical femoral fracture associated with delayed union for which the cessation of alendronate and daily administration of teriparatide contributed to fracture healing: histopathological evidence of the enhancement in bone formation parameters.	Mod Rheumatol Case Rep. 2020 Jan;4(1):141-146.	Case report
163	Imai M, Kondo N, Kumazaki R, et al.	整形外科	Treatment of an Intractable Forefoot Ulcer Using Realignment Osteotomy in a Patient with Rheumatoid Arthritis.	Case Rep Orthop. 2020 Jul 27;2020:8817456.	Case report
164	Ishikawa Y, Watanabe K, Katsumi K, et al.	整形外科	Short- versus long-segment posterior spinal fusion with vertebroplasty for osteoporotic vertebral collapse with neurological impairment in thoracolumbar spine: a multicenter study.	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Aug 1;21(1):513.	Original Article
165	Lugue MKT, Watanabe K, Yamazaki A, et al.	整形外科	Impact of L4/5 Posterior Interbody Fusion With or Without Decompression on Spinopelvic Alignment and Health-related Quality-of-Life Outcomes.	Clin Spine Surg. 2020 Dec;33(10):E504-E511.	Original Article
166	Kondo N, Fujisawa J, Endo N.	整形外科	Subcutaneous Tocilizumab Is Effective for Treatment of Elderly-Onset Rheumatoid Arthritis.	Tohoku J Exp Med. 2020 May;251(1):9-18.	Original Article
167	Ohashi M, Bastrom TP, Bartley CE, et al.	整形外科	Associations between three-dimensional measurements of the spinal deformity and preoperative SRS-22 scores in patients undergoing surgery for major thoracic adolescent idiopathic scoliosis.	Spine Deform. 2020 Dec;8(6):1253-1260.	Original Article

小計 6件

168	Ohashi M, Bastrom TP, Marks MC, et al.	整形外科	The Benefits of Sparing Lumbar Motion Segments in Spinal Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis Are Evident at 10 Years Postoperatively.	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Jun 1;45(11):755-763.	Original Article
169	Mizouchi T, Katsumi K, Izumi T, et al.	整形外科	Three-dimensional morphological analysis of cervical foraminal stenosis using dynamic flexion-extension computed tomography images.	J Orthop Sci. 2020 Sep;25(5):805-811.	Original Article
170	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, et al.	整形外科	Flexibility of the thoracic curve and three-dimensional thoracic kyphosis can predict pulmonary function in nonoperatively treated adult patients with adolescent idiopathic scoliosis.	J Orthop Sci. 2020 Jul;25(4):551-556.	Original Article
171	Hokari S, Tanifuji O, Kobayashi K, et al.	整形外科	The inclination of the femoral medial posterior condyle was almost vertical and that of the lateral was tilted medially.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2020 Dec;28(12):3854-3864	Original Article
172	Someya K, Mochizuki T, Hokari S, et al.	整形外科	Age- and sex-related characteristics in cortical thickness of femoral diaphysis for young and elderly subjects.	J Bone Miner Metab. 2020 Jul;38(4):533-543	Original Article
173	Mochizuki T, Tanifuji O, Sato T, et al.	整形外科	The medial inclination of the proximal tibia is associated with the external knee adduction moment in advanced varus knee osteoarthritis.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Oct 16.	Original Article

小計 6件

174	Mochizuki T, Tanifuji O, Watanabe S, et al.	整形外科	The majority of patellar avulsion fractures in first-time acute patellar dislocations included the inferomedial patellar border that was different from the medial patellofemoral ligament attachment.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Dec;28(12):3942-3948	Original Article
175	Maeda K, Mochizuki T, Kobayashi K, et al.	整形外科	Cortical thickness of the tibial diaphysis reveals age- and sex-related characteristics between non-obese healthy young and elderly subjects depending on the tibial regions.	J Exp Orthop. 2020 Oct 6;7(1):78.	Original Article
176	Katsumi R, Sato T, Mochizuki T, et al.	整形外科	Influence of posterior tibial slope on three-dimensional femorotibial alignment under weight-bearing conditions in healthy Japanese elderly people.	Biomed Mater Eng. 2021;32(3):183-194.	Original Article
177	Mori T, Mochizuki T, Koga Y, et al.	整形外科	New evaluation indices for rotational knee angles in standing anteroposterior knee radiographs.	Biomed Mater Eng. 2021;32(2):85-99	Original Article
178	Mochizuki T, Koga Y, Mori T, et al.	整形外科	Articular surface of the medial proximal tibia is aligned parallel to the ground in three-dimensional space under weight-bearing conditions in healthy and varus osteoarthritic knees.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Oct;28(10):3232-3239.	Original Article
179	Mochizuki T, Tanifuji O, Sato T, et al.	整形外科	Predictive factors for developing osteochondritis dissecans after surgery for discoid lateral meniscus are younger age and shorter meniscal width.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2021 Jan;29(1):100-108.	Original Article

小計 6件

180	Hoya S, Watanabe Y, Nunokawa A, et al.	精神科	Whole-exome sequencing in a family with a monozygotic twin pair concordant for schizophrenia and a follow-up case-control study of identified de-novo variants	Psychiatr Genet. 2020 Apr;30(2):60-63	Original Article
181	Motegi T, Watanabe Y, Fukui N, et al.	精神科	Depression, Anxiety and Primiparity are Negatively Associated with Mother-Infant Bonding in Japanese Mothers	Neuropsychiatr Dis Treat. 2020 Dec 14;16:3117-3122	Original Article
182	Ono S, Sugai T, Suzuki Y, et al.	精神科	Association of selected antipsychotics on the triglyceride levels in patients with schizophrenia in inpatient and outpatient settings.	Clin Neuropsychopharmacol Ther. 2020; 11: 15-22.	Original Article
183	Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, et al.	精神科	The relationship between schizophrenia patients' attitudes towards physical health and the prevalence of metabolic syndrome.	Clin Neuropsychopharmacol Ther. 2020; 11: 23-34.	Original Article
184	Jin Magara, Masahiro Watanabe, Takatori Tsujimura, et al.	口腔リハビリテーション科	Lasting -2- modulation of human cortical swallowing motor pathways following thermal tongue stimulation.	Neurogastroenterol Motil. 2021.1;33(1):e13938	Original Article
185	Ryosuke Ogura, Hitoshi Hasegawa, Shunsuke Kumagai, et al.	脳神経外科	A Case of Curative Onyx Embolization for Tentorial dAVF via Low-flow Feeders with Temporary Balloon Occlusion of High-flow Feeders	Journal of Neuroendovascular Therapy. 2020年; 14巻: 112-117	Case report

小計 6件

186	Yoneoka Y, Aizawa N, Nonomura Y, et al.	脳神経外科	Traumatic Nonmissile Penetrating Transnasal Anterior Skull Base Fracture and Brain Injury with Cerebrospinal Fluid Leak: Intraoperative Leak Detection and an Effective Reconstruction Procedure for a Localized Skull Base Defect Especially After Coronavirus Disease 2019 Outbreak	World Neurosurg. 2020年8月;140巻:166-172	Case report
187	Yuichiro Yoneoka, Katsuhiko Akiyama, and Yasuhiro Seki	脳神経外科	"Glass Fragment Injury to the Cranio-cervical Junction with Interatlantooccipital Penetration to the Subarachnoid Space: Not-To-Be-Missed Important Aspects of Cranio-cervical Trauma Even in the Middle of the COVID-19 Pandemic: Case Report and Review of Literature."	World neurosurgery. 2020年9月;141巻:402-405	Case report
188	Tomoaki Suzuki, Nobuyuki Genkai, Toshiharu Nomura, et al.	脳神経外科	Assessing the Hemodynamics in Residual Cavities of Intracranial Aneurysm after Coil Embolization with Combined Computational Flow Dynamics and Silent Magnetic Resonance Angiography	Journal of Stroke and Cerebrovascular Disease, 2020 Sep 12;29(12) :105290.	Original Article
189	Shoji Saito, Hitoshi Hasegawa, Tomoyoshi Ota, et al.	脳神経外科	Safety and feasibility of the distal transradial approach: A novel technique for diagnostic cerebral angiography	Interventional neuroradiology. 2020;26巻・6号:713-718	Original Article
190	Tomoaki Suzuki, Hitoshi Hasegawa, Kazuhiro Ando, et al.	脳神経外科	Possibility of worsening flow diversion effect due to morphological changes of a stented artery with multiple overlapping stents for partially thrombosed vertebral artery aneurysms	Frontiers in Neurology.2020年12月;11巻	Original Article

小計 5件

191	Manabu Natsumeda, Hiroaki Miyahara, Junichi Yoshimura, et al.	脳神経外科	GLI3 is associated with neuronal differentiation in SHH-activated and WNT-activated medulloblastoma	J Neuropathol Exp Neurol.2021年1月;80巻・2号,129-136	Original Article
192	Shoji Saito, Hitoshi Hasegawa, Toru Takino, et al.	脳神経外科	Unilateral oculomotor nerve palsy caused by arterial compression accompanying subarachnoid hemorrhage: a case report	Acta Neurochirurgica. 2021年3月;163巻・3号:813-816	Case report
193	R. Ogura, M. Oishi, T. Hiraishi, et al.	脳神経外科	Four-dimensional multifusion imaging for assessment of meningioma hemodynamics	Interdisciplinary Neurosurgery.2021年;24巻	Original Article
194	I Ninomiya , M Kanazawa , M Uemura , et al.	脳神経内科	Elevated serum pentraxin 3 levels might predict the diagnosis of branch atheromatous disease at a very early stage	Eur J Neurol. 2020 Jul;27(7):1279-1284	Original Article
195	Taisuke Kato, Yumi Sekine, Hiroaki Nozaki, et al.	脳神経内科	Excessive Production of Transforming Growth Factor $\beta$ 1 Causes Mural Cell Depletion From Cerebral Small Vessels	Front Aging Neurosci. 2020 Jun 3;12:151	Original Article
196	Masahiro Uemura, Hiroaki Nozaki, Taisuke Kato, et al.	脳神経内科	HTRA1-Related Cerebral Small Vessel Disease: A Review of the Literature	Front Neurol. 2020 Jul 3;11:545	Review

小計 6件

197	Kosei Nakamura, Akihiro Sugai, Etsuji Saji, et al.	脳神経内科	Refractory Myositis Affecting the Intrinsic Muscles of the Hand	Intern Med. 2020 May 1;59(9):1211-1214.	Case report
198	Masahiro Hatakeyama, Itaru Ninomiya, Yutaka Otsu, et al.	脳神経内科	Cell Therapies under Clinical Trials and Polarized Cell Therapies in Pre-Clinical Studies to Treat Ischemic Stroke and Neurological Diseases: A Literature Review	Int J Mol Sci. 2020 Aug 27;21(17):6194	Review
199	Masatoyo Nishizawa, Osamu Onodera, Akihiro Hirakawa, et al.	脳神経内科	Effect of rovatirelin in patients with cerebellar ataxia: two randomised double-blind placebo-controlled phase 3 trials	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2020 Mar;91(3):254-262.	Original Article
200	Yutaka Otsu, Masaki Namekawa, Masafumi Toriyabe, et al.	脳神経内科	Strategies to prevent hemorrhagic transformation after reperfusion therapies for acute ischemic stroke: A literature review	J Neurol Sci. 2020 Dec 15;419:117217	Review
201	Yuki, A. Ansai, O. Abe, R.	皮膚科	CADM1 expression of mast cells in mycosis fungoides	J Am Acad Dermatol. 2020 Apr;82•4:e143-e144	Letter
202	Hasegawa, A. Shinkuma, S. Hayashi, R. et al.	皮膚科	RIP3 as a diagnostic and severity marker for Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis	J Allergy Clin Immunol Pract. 2020 May;8•5:1768-1771	Original Article

小計 6件

203	Saito, Y. Yokoyama, R. Umemori, Y.	皮膚科	Cutaneous angiosarcoma: Efficacy and treatment regimen of paclitaxel maintenance therapy	Dermatol Ther. 2020 Jul;33•4:e13563	Letter
204	Tomii, K. Deguchi, T. Katsumi, T. et al.	皮膚科	Case of toxic epidermal necrolysis successfully treated with repeated i.v. immunoglobulin	J Dermatol. 2020 Jul;47•7:e265-e266	Letter
205	Shimagaki, H. Yuki, A. Kimura, K. et al.	皮膚科	Case of cutaneous botryomycosis in an 8-year-old immunocompetent boy with a review of the published work	J Dermatol. 2020 May;47•5:542-545	Original Article
206	Ansai, O. Shinkuma, S. Hayashi, R. et al.	皮膚科	Functional analysis of keratin filament network formation indicates clinical severity of epidermolysis bullosa simplex	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2020 Oct;34•10:e613-e616	Letter
207	Kawai, T. Kabata, Y. Shinkuma, S. et al.	皮膚科	Intracytoplasmic abnormality of corneocytes in circumscribed palmar or plantar hypokeratosis: ultrastructural observations	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2020 Nov;34•11:e709-e711	Letter
208	Shimagaki, H. Kabata, Y. Nakamura, A. et al.	皮膚科	Neutrophilic myositis with Sweet's syndrome leading to rhabdomyolysis: A case report	J Dermatol. 2020 Nov;47•11:e415-e417	Letter

小計 6件

209	Oginezawa, M. Shinkuma, S. Ansai, O. et al.	皮膚科	Seborrheic dermatitis-like metastatic breast cancer	J Dermatol. 2020 Dec;47•12:e440-e442	Letter
210	Kimura, H. Hasegawa, A. Takei, I. et al.	皮膚科	Characteristic pathological features of keratinocyte death in a case of Stevens-Johnson syndrome manifested by an immune checkpoint inhibitor	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2021 Feb;35•2:e142-e145	Letter
211	Saito, Y. Fujikawa, H. Takatsuka, S. et al.	皮膚科	Risk factors for lymph node metastasis in cutaneous squamous cell carcinoma: a long-term retrospective study of Japanese patients	Int J Clin Oncol. 2021 Mar;26•3:606-612	Original Article
212	Tsuchida, Y. Fujimoto, A. Shigehara, Y. et al.	皮膚科	Risankizumab for treating chronic plaque psoriasis complicated by recurrent diverticulitis: A case report	J Dermatol. 2021 Mar;48•3:e124-e125	Letter
213	Yamamoto T, Kurabe M, Matsumoto K, et al.	麻酔科	Congenital tracheal aplasia without prenatal diagnosis masked by maternal obesity and gestational diabetes: A case report	A&A Practice. 2020 April;14•6:e01200	Case report
214	Watanabe T, Moriya K, Baba H	麻酔科	Quadratus lumborum block type 2 for pedicle groin flap analgesia: a case report	JA Clin Rep. 2020 May;6•1:36	Letter

小計 6件

215	Yamamoto T, Arai Y, Schindler E	麻酔科	Real-time ultrasound-guided supraclavicular technique as a possible alternative approach for Hickman catheter implantation	J Pediatr Surg. 2020 June;55•6:1157-61	Case report
216	Soma H, Furutani K, Hibino A, et al.	麻酔科	Downfolding of the epiglottis into the laryngeal inlet after tracheal intubation using the McGRATH TM MAC videolaryngoscope: a case report	JA Clin Rep. 2000 Jun;6•1:42	Case report
217	Imai H, Seino Y, Baba H	麻酔科	Efficacy of a novel urinary catheter for men with a local anesthetic injection port for catheter-related bladder discomfort: a randomized controlled study	J Anesth. 2020 Oct;34:688-93	Original Article
218	Furutani K, Watanabe T, Matsuda K, et al.	麻酔科	SUZYTM forceps facilitate nasogastric tube insertion under McGTATHTH MAC videolaryngoscopic guidance: a randomized, controlled trial	Medicine (Baltimore).2020 Oct;99•41:e22545	Original Article
219	Ohashi N, Kohno T	麻酔科	Analgesic effect of acetaminophen: A review of known and novel mechanisms of action	Frontiers in Pharmacology.2020 Nov;11:580289	Review
220	Yamamoto T, Seino Y, Matsuda K, et al.	麻酔科	Preoperative Implementation of Transverse Thoracic Muscle Plane Block and Rectus Sheath Block Combination for Pediatric Cardiac Surgery	J Cardiothorac Vasc Anesth.2000 Dec;34•12:3367-72	Original Article

小計 6件

221	Deguchi H, Furutani K, Mitsuma Y, et al.	麻醉科	Low-dose droperidol suppresses transcranial electrical motor-evoked potential amplitude: a retrospective study	J Clin Monit Comput. 2021 Feb;35•1:175-81	Original Article	
222	Yuki Sakai, Qiliang Zhou, Yoshifumi Matsumoto, et al.	薬剤部	Age-Based Comparison of Hematological Toxicity in Patients with Lung Cancer	Oncology. 2020 Nov;98:771- 8	Original Article	
223	Kyoko Nakazawa, Takashi Ishikawa, Akira Toyama, et al.	薬剤部	Prediction of Postoperative Infection for Patients Undergoing Gastrointestinal Surgery: Findings from Electronic Health Records	Gastroenterol Insights. 2020 Nov;11:36-46	Original Article	
224	Kensuke Yoshida, Yasumitsu Kodam2, Takahiro Nagai, et al.	薬剤部	Clinico-statistical survey of oral antimicrobial prophylaxis and surgical site infection regarding ordinary tooth extraction and mandibular wisdom tooth extraction in the dental outpatient clinic	J Infect Chemother. 2021 Feb;27:192-7	Original Article	
225	Kubota Y, Pech NS, Durward C, et al.	予防歯科	Early childhood caries status and its associated factors among young children in a rural area of Cambodia	Pediatr Dent J. 2020 Apr; 30(1): 17-23	Original Article	小計 6件
226	Kubota Y, Pech NS, Durward C, et al.	予防歯科	Association between Early Childhood Caries and Maternal Factors among 18- to 36- month-old Children in a Rural Area of Cambodia	Oral Health Prev Dent. Oct; 18(1): 973-980	Original Article	小計 1件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	星名秀行, 小川信, 山田穂 他	インプラント治療部	大学病院インプラント治療部開設後10年間の臨床統計的検討.	日本顎顔面インプラント学会雑誌, 19(1):3-11.	Original Article
2	山崎裕太, 河村篤志, 高嶋真樹子 他	顎口腔インプラント治療部	ポストの接着時におけるレジメンメントの手技別の気泡混入率および接着力の評価.	日本補綴歯科学会誌, 12(3), 264-271, 2020.	Original Article
3	新垣元基, 勝見祐二, 内藤絵里子 他	顎顔面口腔外科	口腔癌stage I, II症例の臨床統計的検討.	新潟歯学会誌.2020 Des;50(2):33-9.	Original Article

小計 2件

4	重本心平, 堀一浩, 宮島久 他	義歯診療科	総合病院入院中の嚥下障害患者における栄養リスク状態に関連する因子.	老年歯科医学. 2020 Sep; 35(2): 106-117	Original Article
5	小飯塚仁美, 堀一浩, 小野高裕	義歯診療科	上顎欠損患者の顎義歯装着時・非装着時における発音時口腔内圧と音圧の関係.	顎顔面補綴. 2020 Dec; 43(2): 65-72	Original Article
6	長谷川 静, 米田博行, 長谷川陽子 他	義歯診療科	歯列交換期の学童における咀嚼能力と体格・身体能力との関係	日本咀嚼学会雑誌. 2020 Oct; 30(2):79-87	Original Article
7	堀一浩, 小野高裕	義歯診療科	舌接触補助床の適応と嚥下機能回復	臨床栄養. 2020 Nov; 137(6): 795-797	Review
8	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	2型糖尿病の予防	臨床栄養. 136(6):743-749, 2020	Original Article

小計 5件

9	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	糖尿病合併症の心血管イベントに対する血糖降下薬介入研究	糖尿病合併症. 34(1):122-126, 2020	Original Article
10	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	ビッグデータ時代の臨床エビデンスに基づく運動療法	日本臨床運動療法学会雑誌. 21(2);1-5, 2020	Original Article
11	瀧澤淳	血液・内分泌・代謝内科	慢性リンパ性白血病および類縁疾患の病因・病態と治療	日本臨牀. 78(3):499-504, 2020	Original Article
12	藤原和哉	血液・内分泌・代謝内科	2型糖尿病患者における頸動脈超音波検査と冠動脈病変	糖尿病合併症. 34(1):100-103, 2020	Original Article
13	藤原和哉	血液・内分泌・代謝内科	リアルワールドデータを活用した日本人糖尿病患者における細小/大血管合併症リスクの縦断的検討	糖尿病合併症. 34(2):174-183, 2020	Original Article

小計 5件

14	矢口雄太、曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	心血管イベントおよび細小血管障害の危険因子としての低血糖	月間糖尿病DIABETES. 13(1):26-33, 2021	Original Article
15	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	糖尿病の予防治療における食事療法と運動療法の統合効果に関する大規模医療データエビデンス	医学のあゆみ別冊 276 (5) : 510-515, 2021	Original Article
16	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	内分泌系	栄養科学イラストレイテッド演習版 解剖生理学—人体の構造と機能. 第3版. 159-180, 2020	Others
17	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	内分泌系	栄養科学イラストレイテッド解剖生理学—人体の構造と機能. 第3版. 173-191, 2020	Original Article
18	金子正儀、曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	成人の1型糖尿病と2型糖尿病の食事療法にはどのような違いがあるのでしょうか？	糖尿病の最新食事療法のなぜに答える-基礎編. 19-22, 2020	Others

小計 5件

19	鈴木裕美、曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	血糖コントロールにより、境界型からの糖尿病発症や、糖尿病からの合併症発症をどのくらい予防できるのでしょうか？	糖尿病の最新食事療法のなぜに答える-基礎編. 9-12, 2021	Others
20	岩永みどり、曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	糖尿病の診断は何を目的として、どのような基準で行うのでしょうか？	糖尿病の最新食事療法のなぜに答える-基礎編. 5-8, 2022	Others
21	石澤正博、曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	糖尿病患者数が頭打ちになっているというのは本当ですか？	糖尿病の最新食事療法のなぜに答える-基礎編. 1-4, 2023	Others
22	瀧澤淳	血液・内分泌・代謝内科	C. 慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫	病型別治療方針 悪性リンパ腫治療マニュアル(改訂第5版) 158-163, 2020	Original Article
23	瀧澤淳	血液・内分泌・代謝内科	再発・再燃びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)の治療方針	EBM 血液疾患の治療 2021-2022. 309-313, 2021	Original Article

小計 5件

24	瀧澤淳	血液・内分泌・代謝内科	顆粒球減少症(無顆粒球症)	今日の治療指針2021年版. 727-728, 2021	Original Article
25	瀧澤淳	血液・内分泌・代謝内科	慢性リンパ性白血病(CLL)と類縁疾患	新臨床腫瘍学 改訂第6版. 594-597, 2021	Original Article
26	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	場所も時間もないあなたへ:おすすめの運動療法	糖尿病ケア春季増刊 最高で最強の糖尿病患者説明シート57. 182-186, 2021	Others
27	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科	これから運動を始めるあなたへ:まずはやってみよう!	糖尿病ケア春季増刊 最高で最強の糖尿病患者説明シート57. 176-180, 2021	Others
28	関 義信、中島 勝	魚沼地域医療教育センター	日本での公費負担制度取得に苦慮したHIV垂直感染の1留学症例	日本エイズ学会誌 22: 42-45, 2020	Original Article

小計 5件

29	関 義信	魚沼地域医療教育センター	カテゴリー1 総論 3. がん診療における 漢方診療の目的	がんサポートケアのた めの漢方活用ガイド。 pp12-16, 2020	Original Article
30	関 義信、近 藤奈美、元雄 良治	魚沼地域医療教育センター	カテゴリー2 各論 (症候編) 4. 味覚障 害	がんサポートケアのた めの漢方活用ガイド。 pp71-76, 2020	Original Article
31	関 義信	魚沼地域医療教育センター	カテゴリー2 各論 (症候編) 10. 血球 減少	がんサポートケアのた めの漢方活用ガイド。 pp113-118, 2020	Original Article
32	関 義信	魚沼地域医療教育センター	カテゴリー3 各論 (処方編) 1. 十全大 補湯	がんサポートケアのた めの漢方活用ガイド。 pp126-134, 2020	Original Article
33	大嶋康義、菊 地利明	呼吸器・感染症内科	睡眠時無呼吸症候 群診療の現状と課題	日本内科学会雑誌 2020 年109巻6号 p1049-1051	Others

小計 5件

34	大嶋康義、中山秀章	呼吸器・感染症内科	睡眠呼吸障害の表現型とは	睡眠医療 2020年14巻3号 p273-279	Review
35	渡部聡	呼吸器・感染症内科	進行期扁平上皮非小細胞肺癌の新たな治療戦略	肺癌 2020年60巻5号 p379-384	Review
36	穂苅諭、渡井(風間)はづき、南雲駿他	呼吸器・感染症内科	ジアフェニルスルホンによる薬剤性メヘモグロビン血症の3例	日本内科学会雑誌 2021年110巻3号 p622-626	Case report
37	榛沢 和彦、伊倉 真衣子、中島 孝	心臓血管外科	柏崎市と小千谷市の住民における頸動脈微小栓子シグナルと循環器疾患との関連性について	心臓 (0586-4488)52巻7号 Page717-721(2020.07)	Original Article
38	榛沢 和彦	心臓血管外科	地震後の避難生活とエコノミークラス症候群の関わりと課題	Geriatric Medicine (0387-1088)58巻9号 Page815-819(2020.09)	Others

小計 5件

39	白石修一、杉本愛、土田正則	心臓血管外科	右房・無名静脈バイパスが開存していた Glenn手術原法・ Bjork手術後遠隔期の蛋白漏出性胃腸症に対しTCPC転換術を施行した1例	日本心臓血管外科学会雑誌 49(5): 257-260, 2020	Case report
40	白石 修一	心臓血管外科	カンファレンス力をアップ-先天性心疾患各論-:外科医が内科医に求めること	日本小児循環器学会雑誌 36(3): 209-214, 2020	Review
41	岡本 竹司	心臓血管外科	下行大動脈にentryを有する逆行A型大動脈解離に対するTEVAR	血管外科 第39巻 第1号 P2020 29-35	Original Article
42	茅原 誠, 安達 聡介, 鈴木 久美子 他	産科婦人科	A case of mature teratoma in the residual ovary after fertility-sparing therapy for ovarian yolk sac tumor managed with oocyte cryopreservation followed by cystectomy.	Journal of Mammalian Ova Research (1341-7738)37 巻1号 Page43-49(2020.07)	Case report
43	関根 正幸, 西野 幸治, 榎本 隆之	産科婦人科	【内分泌外科領域のがんゲノム医療・precision medicine】 婦人科癌のゲノム医療	日本内分泌外科学会雑誌 (2434-6535)37巻2号 Page126-130(2020.06)	Review

小計 5件

44	磯部 真倫, 榎本 隆之, 錦織 宏	産科婦人科	【パンデミック下の医学教育-現在進行形の 実践報告-】ファカルティ・ ディベロップメント Zoomによる 教育事例検討会 オンラインFaculty Development	医学教育 (0386-9644)51 巻3号 Page338- 340(2020.06)	Review
45	西川 伸道, 石黒 竜也, 吉原 弘佑 他	産科婦人科	妊娠中の広汎子宮頸 部摘出術	日本婦人科腫瘍学会雑誌 (1347-8559)38巻2号 Page151-154(2020.04)	Review
46	野杵由一郎, 西村英紀	歯の診療科	保存治療のイノベーション	日歯保存誌. 2020; 63(2): 125-126	Review
47	竹中彰治, 長 谷川泰輔, 小 田真隆 他	歯の診療科	機能的糖脂質ビザンチンによる <i>Streptococcus mutans</i> の付着抑制 効果 -表面性状の変化と付着関連遺 伝子の発現解析-	日歯保存誌. 2020; 63(2): 173-180	Original Article
48	大墨竜也, 竹 中彰治, 野杵 由一郎	歯の診療科	非穿孔型の広範な歯 根内部吸収を認めた 上顎右側中切歯の1 症例.	日歯保存誌. 2020; 63(5): 445-450	Case report

小計 5件

49	奥村暢旦, 荒井良明, 河村篤志 他	歯科総合診療科	下顎頭部腫瘍切除後に生じた開咬症例に対し行った補綴治療	日本補綴歯科学会誌.2020.10;12巻4号 Page337-343	Case report
50	中村太, 佐藤拓実, 原さやか 他	歯科総合診療科	光学式モーションキャプチャ・システムを用いた浸潤麻酔および印象採得動作の定量的解析.	日本総合歯科学会雑誌.2020.10;12巻 Page27-34	Original Article
51	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集: 知っておきたい口腔の感覚異常 テーマ: 口腔の感覚異常の病態と治療 舌痛症	JOHNS. 2020.08; 36(8): 975-978	Review
52	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集: 耳鼻咽喉科診察Q&A テーマ: 耳科領域 4.めまい患者に難聴の自覚がなくても聴力検査はすべきですか?	JOHNS. 2020.09; 36(9): 1134-1135	Review
53	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集: 最新知識からめまいを見る一目で見るめまい診察 3.症例から見るめまい診療 6)めまい症 (PPPDを含む)	JOHNS. 2021.01; 37(1): 37-40	Review

小計 5件

54	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	論説 PPPDの診断と治療について	耳鼻咽喉科臨床. 2020.04; 113(4): 205-213	Review
55	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集:高齢者のめまいを治す 高齢めまい患者を診断する際のポイント 加齢性平衡障害の診断基準を中心に	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2020.05; 92(6): 416-420	Review
56	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集:耳鼻咽喉科の間診のポイント—どこまで診断に近づけるか BPPV, PPPDが疑われる場合の間診のポイント II. 診断精度を上げる間診のポイント	ENTONI. 2020.04; 244: 63-69	Review
57	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	トピックス 持続性知覚性姿勢誘発めまい頭痛・めまい —すぐに役立つ鑑別診断と根拠に基づいた治療—	Medical Practice. 2020.04; 37(4): 582-584	Review
58	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	特集:知っておきたい小児の耳鼻咽喉科疾患 10.耳鼻咽喉科疾患としてのめまい	小児科 金原出版. 2020.12; 61(13): 1752-1759	Review

小計 5件

59	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	薬剤性難聴 [私の治療]	日本医事新報. 2020.11; 5037: 53	Review
60	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	新しいめまいの分類「持続性知覚性姿勢誘発めまい」ってどんなもの？	エキスパートナーズ. 2021.01; 37(1): 112-116	Review
61	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	各科臨床のトピックス 画像診断に基づくメニエール病の新しい診断基準	日本医師会雑誌. 2021.02; 149(11): 1994-1995	Review
62	高橋 邦行	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	側頭骨手術トレーナ, シミュレータ. In: 臨床力を鍛えるシミュレーション教育	医歯薬出版. 2020.06; 96-99	Review
63	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	専門医講習会テキストシリーズ「どう取り組む？難治性中耳炎」	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2020.07; 123(7): 602-604	Review

小計 5件

64	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	フローチャートと検査 一覧で一目でわかる 耳鼻咽喉科診療一 回転性めまい	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2020.04; 92(5): 74-79	Review
65	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	今さら聞けない自己 免疫疾患の基礎知 識一各論:ANCA関 連血管炎性中耳炎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2020.09; 92(10): 794-798	Review
66	高橋剛史、山 崎恵介、竹内 美香 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	近赤外線装置を用い た副甲状腺の自家蛍 光観察:pde-neo®と FLUOBEAM800®の 比較	頭頸部外科. 2021.03; 30(3): 277-283	Original Article
67	尾崎 和幸	循環器内科	慢性血栓性肺 高血圧症における病 変の特徴	Coronary Intervention 2020; 16: 81-85.	Original Article
68	藤木 伸也	循環器内科	COVID-19と心血管 疾患	ANTI-AGING MEDICINE 2020; 16: 97-102.	Original Article

小計 5件

69	藤木 伸也	循環器内科	心不全の病因としての糖尿病	循環器内科 2020; 87(4): 425-431.	Original Article
70	加瀬 真弓, 南野 徹	循環器内科	血管新生阻害薬	腫瘍循環器診療ハンドブック MEDICAL VIEW 2020; 14-16.	Original Article
71	清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	脂肪細胞の老化, 褐色脂肪と心血管病	The Lipid メディカルレビュー社 2020; 21-28.	Original Article
72	清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	老化における褐色脂肪不全の意義	月刊「細胞」北隆館 2020; 361-364.	Original Article
73	清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	糖尿病心における構造, 機能および代謝的リモデリング	月刊「糖尿病」医学出版 2020; 27-34.	Original Article

小計 5件

74	吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	SASP因子を介する細胞間ネットワークと加齢性疾患	実験医学 羊土社 2020; 2027-2031.	Original Article
75	須田 将吉, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	老化制御におけるsenolysisの可能性	老年内科 科学評論社 2020; 2(6): 712.	Original Article
76	仲尾 政晃, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	5. 細胞老化と抗老化治療	糖尿病学2020 診断と治療社 2020; 34-40	Original Article
77	勝海 悟郎, 南野 徹	循環器内科	Senolysis, セノリティクス薬	腎臓内科(Nephrology) 12(2) 科学評論社 2020; 240-247.	Original Article
78	加瀬 真弓, 南野 徹	循環器内科	血管新生阻害薬	腫瘍循環器診療ハンドブック メジカルビュー社 2020; 14-15.	Original Article

小計 5件

79	木下 義晶	小児外科	総排泄腔遺残症管理への産婦人科の役割 総排泄腔遺残症診療における小児外科医の取り組み	日本女性医学学会雑誌 2020;27(4):562-567	Review
80	小山 諭	消化器・一般外科	県医よろずQ&A 高齢者の低タンパク血症について	新潟県医師会報. 2020 Aug;845:54-56	Others
81	島田 能史, 若井 俊文	消化器・一般外科	県医よろずQ&A リキッドバイオプシーについて(Q&A)	新潟県医師会報. 2020 Nov;848:63-65	Others
82	滝沢 一泰, 亀山 仁史, 若井 俊文 他	消化器・一般外科	新しい専門医制度に関するシンポジウム～始まって2年、新しい専門医制度を巡る課題～ 外科新専門研修プログラムに関する現状と課題	新潟医学会雑誌. 2020 Apr;134(4):113-117	Others
83	亀山 仁史, 若井 俊文	消化器・一般外科	1例1例がcase report	日本消化器外科学会雑誌. 2020 Aug;53(8):681-686	Original Article

小計 5件

84	成田 一衛	腎・膠原病内科	透析患者と認知症	日本老年医学会雑誌. 2020 04;57(2):109-112	Review
85	小林 大介、 長谷川絵理 子、伊藤 聡 他	腎・膠原病内科	Joint overuse in rheumatoid arthritis patients	臨床リウマチ. 2020 09;32(3):201-209	Original Article
86	黒澤 陽一、 伊藤 聡、坂 井 俊介 他	腎・膠原病内科	リウマチ・膠原病患者 におけるエソメプラ ゾール処方実態の検 討	中部リウマチ. 2020 08;50(1):3-8	Original Article
87	山本 卓、青 池 郁夫、成 田 一衛	血液浄化療法部	新潟県透析施設の新 型コロナウイルス感染 症(COVID-19)対策	日本透析医学会雑誌. 2020 12;35(3):588-590	Review
88	相場 秀太郎、 村上 玲子、 遠藤 直人	整形外科	鑑別に難渋した二分 脊椎児の脛骨遠位成 長軟骨板(骨端線)損 傷の一例	日本小児整形外科学会雑 誌(0917-6950)29巻2号 Page314-318(2020.12)	Case report

小計 5件

89	前田 圭祐, 谷藤 理, 望 月 友晴 他	整形外科	化膿性関節炎、人工 関節周囲感染の関節 液培養における血液 培養瓶の有用性	東北整形災害外科学会雑 誌(1348-8694)63巻1号 Page30-32(2020.06)	Original Article
90	大橋正幸, 渡 辺慶、平野徹 他	整形外科	新潟大学整形外科に おける特発性側弯症 に対する矯正固定 術:過去20年間の変 遷	新潟整形外科研究会会 誌. 2020;36:5-10	Original Article
91	野崎あさみ、 今井教雄、鈴 木勇人 他	整形外科	調査用紙と病名検索 システムによる患者 収集制度の違い	新潟整形外科研究会会 誌. 2020;36:57-60	Original Article
92	石坂佳祐、依 田拓也、土屋 潤平	整形外科	指尖部掌側切断に 対して指動脈穿通 枝皮弁にて治療した 1例	新潟整形外科研究会会 誌. 2020;36:61-66	Case report
93	大橋正幸、渡 辺慶、平野徹 他	整形外科	特発性側弯症に対す る後方矯正固定術の 周術期疼痛管理と術 後回復過程の検討	新潟整形外科研究会会 誌. 2020;36:93-98	Original Article

小計 5件

94	島垣朔歩、大橋正幸、渡辺慶 他	整形外科	新潟県内の骨粗鬆症性椎体骨折手術症例における術前骨粗鬆症薬物治療の現状—多施設研究—	新潟整形外科研究会会誌. 2020;36:111-114	Original Article
95	伊藤加代子, 前川知樹, 濃野 要 他	口腔リハビリテーション科	舌ブラシ先端形状による細菌除去および洗浄後のブラシの残留細菌数の違い	日摂食リハ会誌. 2020.8; 24(2):170-176.	Case report
96	河辺 啓太, 長谷川 仁, 菊池 文平 他	脳神経外科	顔面静脈経路による経静脈的塞栓術で治療した眼症状を有する Anterior Condylar Confluence 近傍硬膜動静脈瘻の1例	脳血管内治療. 2020年4月;5巻・2号:86-92	Case report
97	齋藤祥二, 長谷川仁, 佐藤大輔 他	脳神経外科	血管内再開通療法が奏効した鈍的頸動脈損傷による急性期脳梗塞の1例	脳神経外科. 2020年6月;48巻・6号:527-532	Case report
98	小出 眞悟, 畠山 公大, 上村 昌寛 他	脳神経内科	一側視野に局限した複雑幻視を呈した硬膜動静脈瘻の1例	臨床神経学.2020.06;60・6:425-428	Case report

小計 5件

99	土田裕子, 新熊悟, 安齋理他	皮膚科	凍瘡様皮疹を契機に診断しえた neuropsychiatric systemic lupus erythematosusの1例	臨床皮膚科.2020 May;74・6:395-400	Case report
100	勝見達也, 森修一, 竹本景太 他	皮膚科	皮膚外科手術における手術室運用システムより速く、より安全に	日本皮膚科学会雑誌.2020 Jul;130・8:1805-1810	Original Article
101	勝見達也, 森修一, 高塚純子 他	皮膚科	非イオン性ヨード造影剤の血管外漏出に対して切開ドレナージを施行した2例	臨床皮膚科.2020 Oct;74・11:859-863	Case report
102	山本知裕	麻酔科	小児における理想的な気管チューブ挿入長についての声帯から気管分岐部までの距離を指標とした検討	日本臨床麻酔学会誌.2020 7月;40・4:343-8	Original Article

小計 5件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

合計 102件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 新潟大学における人を対象とする研究等倫理審査委員会規程 2. 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 1. 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 2. 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 3. 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン (人を対象とする医学系研究等)	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 1. 令和 2 年度 研究倫理セミナー	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科111人, 歯科9人
-------------	--------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
猪又 孝元	循環器内科	教授	33年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	32年	
曾根博仁	血液内科	教授	32年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	39年	
菊地利明	呼吸器・感染症内科	教授	32年	
菊地利明	心療内科	教授	32年	
寺井崇二	消化器内科	教授	32年	
寺井崇二	胆肝臓内科	教授	32年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	35年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	38年	
染矢俊幸	精神科	教授	39年	
齋藤昭彦	小児科	教授	31年	
若井俊文	消化器外科	教授	30年	
若井俊文	乳腺・内分泌外科	教授	30年	
白石修一	心臓血管外科	准教授	24年	
土田正則	呼吸器外科	教授	37年	
川島寛之	整形外科	教授	26年	
松田 健	形成・美容外科	教授	26年	
木下義晶	小児外科	教授	29年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	39年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	28年	
冨田善彦	泌尿器科	教授	37年	

福地健郎	眼科	教授	37年
堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	教授	33年
榎本隆之	産科婦人科	教授	39年
石川浩志	放射線治療科	教授	27年
石川浩志	放射線診断科	教授	27年
馬場 洋	麻酔科	教授	34年
西山 慶	救急科	教授	25年
川島寛之	リハビリテーシ ョン科	教授	26年
味岡洋一	病理診断科	教授	38年
藤井規孝	歯科総合診療科	教授	31年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して  
別添1「2020年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：専門領域シリーズ等）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して  
別添1「2020年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：基礎研修及び役割研修等）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して  
別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和2年度」を参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## 2020年度キャリア開発支援研修計画

研修名	受講対象者	ねらい	講師・研修担当	開催日	受講者数
新採用者 オリエンテーション	新採用者	社会人・医療人・組織の一員としての心構えを持つ	看護部長	4/1	82
			総務担当副看護部長	4/2	82
			総務課副課長	4/2,4/3	82
			質管理担当副看護部長	4/2・3	82
			質管理担当副看護部長	4/2,4/3	82
			各部門看護師長・医療情報部副部長・臨床工学部門長・臨床検査技師長・栄養管理室長・副薬剤部長	4/2,4/3	82
			教育担当副看護部長	4/3	82
			業務担当副看護部長	4/3	82
			教育担当副看護部長	4/3	82
			業務担当副看護部長	4/6	82
			看護職キャリア開発コアセンター	5/19,5/20いずれか	76
			各部署教育担当者	4/9～14	81
			看護職キャリア開発コアセンター	①2021/4/9～4/13②4/15	①81②77
			労働安全衛生教育	労働者の安全衛生に関する知識を習得できる	健康管理センター産業医
基礎研修	1年目 看護職員	院内感染対策マニュアルに沿った、基本的な知識と技術を習得できる	感染管理認定看護師	4/3	82
		基本的な手洗い、手指消毒の実際と着脱防止などの基礎技術を習得する	感染管理認定看護師	4/4	82
		医療安全管理マニュアルに沿った、基本的な看護技術を習得できる 安全管理の視点から「患者確認行動」「指示受け方法」が理解できる	安全管理部GRM 看護安全管理委員会	4/3	82
		院内における看護記録の概要を理解できる	看護情報委員会委員長	4/3	82
		接遇の基本ができる	外部講師	10/9・10/15のいずれか	73
		基本的な口腔ケア技術を習得できる	外来4・5階看護師	4/1	82
		院内における褥瘡管理について理解できる 褥瘡発生要因、褥瘡発生防止について理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師	①4/7②5/19・20	①76②76
		患者体験を通して、褥瘡予防方法を理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師		
		高齢者の特徴を理解できる 高齢者の身辺介助を行なう際の注意点がわかる	看護職キャリア開発コアセンター	5/19・20いずれか	76
		点滴・注射の基礎知識 (注射指示の見方・滴下計算)	看護職キャリア開発コアセンター	4/9～13のいずれか	76
		インスリン指示票の見方、血糖測定とインスリン注射の基本が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/7	76
		インスリン療法について理解できる 低血糖と対処方法が理解できる インスリン注射時の注意点が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/7	76
		急変時の応援要請方法が理解できる 急救カートの設定場所と中身がわかる	看護職キャリア開発コアセンター	4/9～14のいずれか	76
		自己のメンタルヘルスケアに目を向けることができる	保健管理センター産業医	5/8	76
		輸血の基礎知識	輸血・再生・細胞治療センター 副部長・技師長 他	4/15	76
		心電図の正常・異常が判断できる	高次救命災害治療センター 看護師	4/8	76
		褥瘡等看護ケアに必要な各種アセスメント内容が理解でき、操作ができる	看護職キャリア開発コアセンター	①4/9～13のいずれか② 4/15	①81②77
		提示された看護場面を通して患者とのコミュニケーションで必要な要素を理解できる・情報管理	看護職キャリア開発コアセンター	7/4	76
		看護診断の基礎知識を習得できる	看護情報委員会	7/4	76
		日々のコミュニケーションを振り返り、コミュニケーションにおける今後の課題を見つけることができる	看護職キャリア開発コアセンター	10/9・10/15のいずれか	73
気管挿管に使用する器材の組み立て方法がわかる	看護職キャリア開発コアセンター	7/1,7/2いずれ	76		
急変患者の観察ができる 観察した内容を応援スタッフに報告できる BLSとAEDの使用知識・技術を習得できる	BLS院内研修担当者看護職 キャリア開発コアセンター	8/6,9/16,10/20,11/6,12/21 .1/13,2/16,3/11のいずれ か	73		

研修名	受講対象者	ねらい	講師・研修担当	開催日	受講者数	
容態変化対応コースⅠ フィジカルアセスメント		患者の状態を観察しアセスメントができる 患者の状態を的確に報告できる	看護職キャリア開発コアセン ター	①4/7E-ラーニング②7/1・ 7/2のいずれか	76	
クリティカル看護技術⑤ 小児看護	希望者 (新採用者 ほか)	小児の呼吸・循環の異常を理解できる 異常時・急変時の行動を理解できる	小児科看護師	10/9・10/15のいずれか	73	
臨床 技術 トレ ー ニ ン グ プ ロ グ ラ ム	1年目 看護職員	酸素療法	酸素ポンベの取扱が安全に実施できる アウト レットの使い方がわかる	看護職キャリア開発コアセン ター	4/15	76
		内服薬の管理	患者の服薬アセスメントを師、患者に阿多内服管 理ができる	看護職キャリア開発コアセン ター	4/9～4/13	76(+5既卒 者)
		採血	真空採血を安全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター		
		筋肉注射・皮下注射	筋肉注射・皮下注射を安全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター		
		ステップⅠ (静脈注射1「点滴の管理」 静脈注射2 「輸液ポンプとシリンジポンプ」)	点滴調合～実施の手順を安全・清潔に実施でき る 輸液ポンプとシリンジポンプの基本的操作方法を 理解できる	看護職キャリア開発コアセン ター	①4/6.4/8E-ラーニング② 4/9～14のいずれか	76
		静脈注射3 「薬剤の基礎知識」 静脈注射4 「がん化学療法の看護」	薬剤を取り扱う上で、注意すべき薬剤とそのリス クについて理解できる 化学療法をうける患者の看護の基礎を理解でき る	薬剤部薬剤師 がん化学療法看護認定看護師	7/1.7/2いずれか	76
		静脈注射5 「静脈留置針の刺入」)	静脈留置針の刺入の基準手順が理解できるシミ ュレーターを使用しての静脈留置針の刺入を安 全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター	①11/5・6および②11/16～ 20のいずれか	73
		ステップⅡ 「基本看護技術の応用編」	患者の個別性を考慮し、状況に合わせて看護行 為を工夫できる	看護職キャリア開発コアセン ター	6/1～6/9いずれか	76
		ステップⅢ 「多重課題」	多重課題の事例を通し、最適な方法の選択と実 践ができる 課題の学習プロセスを学び、臨床でプロセスを活 用できる	看護職キャリア開発コアセン ター	①11/5・6のいずれか ②12/1～10のいずれか	73
		臨床実践能力セルフ・モニタリング プログラム(SMP)3か月	自己の観察判断の傾向と課題を学ぶ(3か月) 自己の観察判断の成長を確認する(6か月)	看護職キャリア開発コアセン ター	8/11.13.18.19.26のいづれ か	75
		目標管理	組織の理念・目標を理解し、部署の目標を基に 個人目標を考えることができる	看護職キャリア開発コアセン ター	4/9～4/14	76(+5既卒 者)
		リフレッシュ研修 1	同期との交流を通し、思いを共有し合うことで、前 向きな気持ちを持つことができる		5/19.20のいずれか	76
		リフレッシュ研修 2	仕事への責任感からくるストレスフルな気持ちを 同期と共感し合い、一緒にストレス対処方法を考 えることができる	看護職キャリア開発コアセン ター	7/4	76
		リフレッシュ研修 3	自己の看護を振り返ることや、理想とする看護師 像を同期と話し合うことで、残り半年の目標を考 えることができる		10/9・10/15のいずれか	73
リフレッシュ研修 4	入職後1年間を振り返り、自己の成長と今後の課 題を見つけることができる		3/3・3/4のいずれか	73		
リフレッシュ研修 5	同期との交流を通して、次年度に向けた自己の 課題を考えることができる		2/4・2/5のいずれか	60		
安全管理 2	レベルⅠ	看護実践に必要な知識・技術を習得できる	看護安全管理委員会	7/14・7/29のいずれか	74	
感染管理 2		看護実践過程を振り返り研究的視点で分析でき る	感染管理認定看護師	10/10	65	
事例検討		看護実践過程を振り返り研究的視点で分析でき る	看護研究支援委員会	①7/13.16いずれか②11/7	①64②64	
容態変化対応コースⅡ 「容態変化への気づきと対応」	2年目 看護職員	基礎観察能力、および患者状態が変化した時の 対応を習得できる	集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師	2/4・2/5のいずれか	61	
リーダーシップ(基礎編)	レベルⅡ	リーダーシップの基本を習得できる	教育委員会	10/23・11/9のいずれか	42	
リーダーシップ(実践編)	レベルⅢ	部署の目標管理においてリーダーシップを発揮 できる	教育委員会	オリ5/18・報告会2/26	19	
組織管理	レベルⅢ	組織の一員として果たす役割を理解できる	教育委員会	8/6・12/17のいずれか	49	
看護管理	看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	11/13	31	
看護管理	副看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	1/23	74	
1年目サポーター(基礎編)研修	レベルⅡ(取得 見込含む)	1年目サポーターの役割を理解できる	教育委員会	2/12・2/19のいずれか	69	
1年目サポーター(実践編)研修	初めて1年目サ ポーターを担う 者 レベルⅡ	1年目サポーターの役割を理解し、役割機能を遂 行できる	教育委員会	①5/25・6/3のいずれか② 1/15・1/28のいずれか次年 度オリエンテーション3/2	62	
2年目サポーター研修	2年目サポ ーター	2年目サポーターの役割を理解し、役割を遂行で きる	教育委員会	①11/4②3/8～22	①29②35	
エルダー研修	エルダー	エルダーの役割を理解し役割を遂行できる	教育委員会	①6/30・7/6のいずれか② 10/21・10/29のいずれか	①92②88	
教育担当者研修	教育担当者	現任教育において能力を發揮できる	外部講師・教育委員会	①6/26②10/14 (③次年度担当者対象3/8 ～22)	①27②27③29	
褥瘡ケア ①MDRPU②スキン・テア③ 失禁関連皮膚炎④他職種で取り組む 皮膚トラブル予防と対策	褥瘡担当+看 護職全員	褥瘡担当において能力を發揮できる	看護部褥瘡対策チーム	8/3～9/30	①417②416 ③417④565	
せん妄予防対応説明会	ケアリング担 当者	せん妄予防・対応に関する知識・技術・態度・スク リーニングについて理解することができる	ケアリング委員会	8/12	29	
実習指導	実習指導者 (スタッフ)	実習指導において能力を發揮できる	看護部臨床実習委員会	①12/8	26	

研修名	受講対象者	ねらい	講師・研修担当	開催日	受講者数	
専門領域・テーマ別研修	看護研究	希望者	臨床実践につながる看護研究ができる	看護研究支援委員会	①支援:随時②プレゼン研修10/5③スタート研修2/15	①8部署②15③39
	看護研究発表会	全看護職員	研究で得られた知見を共有する	看護研究支援委員会	①11/20②12/11	①381②278
	文献検索	希望者	図書館の利用方法、文献検索を理解することができる	看護研究支援委員会 旭町図書館職員	7/13	事例検討研修者64.他8
	看護倫理	レベルⅠ	事例を通し、倫理的問題に気づき、表出することができる	教育委員会	8/3・8/21いずれか	63
	看護倫理	レベルⅢ以上	倫理的課題に気づき、倫理的課題に対し、「倫理原則」や「看護実践上の倫理的概念」を用い、倫理的課題を整理し、看護師としてとるべき行動がわかる。	教育委員会	9/18・10/1いずれか	33
	シミュレーション教育	レベルⅢ相当	シミュレーション教育に関する知識・技術を習得し、看護実践や教育支援に活用できる	教育委員会	①7/17.8/7いずれか	24
	シミュレーション教育ファシリテーター研修	レベルⅣ副看護師長	STEPⅠ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める: デブリーフィング STEPⅡ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める: デブリーフィングガイド作成と実施 STEPⅢ. 演習を通し、シミュレーション教育の理解を深める: 活用できるシナリオ作成	教育委員会	①STEPⅠ: 6/26・7/3のいずれか ②STEPⅡ: 8/28・9/11 STEPⅢ:10/2・11/27	①31②28③
救急看護BLS	希望者	急変患者の観察ができる 観察した内容を応援スタッフに報告できる BLSとAEDの使用知識・技術を習得できる	BLS院内研修担当者	8/6.9/16.10/20.11/6.12/21. .1/13.2/16.3/11のいずれか	24	
看護補助者	基礎技術研修	新採用者	職務遂行に必要な知識・技術を習得する	看護部管理室他	4/2, 3, 4	2
	看護補助者に必要な基礎知識	全員	①医療制度の概要及び病院の機能と組織、医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務、守秘義務、個人情報の保護について理解できる②看護補助者業務を遂行するための基礎的な知識・技術、看護補助者業務における医療安全と感染防止として急変時の応援要請について④日常生活にかかわる業務、看護補助者業務における医療安全と感染防止として感染管理研修	看護部管理室 感染管理認定看護師 看護職キャリア開発センター	10/20	20
	日常業務における技術トレーニング		各部署により実施している業務内容が異なるため、各自が希望する技術のトレーニングを行い、安全な技術習得する「感染牝牛のための観光整備」	看護職キャリア開発センター	10/20	20

## 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況:令和2年度

研修名	開催日時	受講者数 (のべ)
指導者養成研修 シミュレーション教育ファシリテーター養成 研修STEP I～III	R2.8.29、9.12、10.3、11.14、11.28	26
指導者養成研修 褥瘡指導者研修STEP I－褥瘡対策の基本－	R2.7.22、8.26	14
指導者養成研修 褥瘡指導者研修STEP II－症例から見る褥瘡ア セスメントとケアの実際－	R2.9.16、10.14	9
指導者養成研修 褥瘡指導者研修STEP III－褥瘡ケアの指導方法 を学ぶ－	R2.11.25、12.16	9
基礎看護技術研修 Aコース：採血・点滴管理コース	R2.7.15、8.25、9.9、11.11、R3.2.3	23
基礎看護技術研修 Bコース：注射・輸液ポンプ等操作コース	R2.7.15、8.25、9.9、11.11、R3.2.3	26
基礎看護技術研修 Cコース：排泄ケアコース	R2.8.12、10.7、R3.1.20	18
基礎看護技術研修 Dコース：急変時対応コース	R2.7.8、10.21、R3.2.10	15
基礎看護技術研修 Eコース：ポート管理・経管栄養コース	R2.8.12、10.7、R3.1.20	18
基礎看護技術研修 Fコース：褥瘡ケアコース	R2.8.13、10.28、R3.1.27	16

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 岡田 俊	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体(一部紙媒体)  ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 島田 彰	
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室	
閲覧の手続の概要		
様式第5の保管場所・管理方法による。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項</li> <li>3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針</li> <li>4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>5 医療上の事故等の発生時の基本方針</li> <li>6 患者との情報共有に関する基本方針</li> <li>7 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針</li> <li>9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 開催状況：年 12回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アクシデントの発生防止対策に関すること</li> <li>2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること</li> <li>3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること</li> <li>4 その他医療安全の推進に関すること</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容(すべて)：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特定機能病院の承認要件の見直し及び医療安全監査委員会からの意見について</li> <li>2 医療安全管理について</li> <li>3 医薬品の安全管理</li> <li>4 医療機器の安全管理</li> <li>5 診療放射線安全利用の講習</li> <li>6 本院における児童虐待への対応について</li> <li>7 病院情報システムと個人情報管理</li> <li>8 インフォームド・コンセント</li> </ol> </li> </ul> <p>※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集</li> <li>2 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討</li> <li>3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全推進委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証・重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備</li> <li>4 院内で発生した死亡・死産事例(入院・外来)の全例チェックおよび検討</li> <li>5 医療事例審議委員会、(調査専門委員会)における事例分析、再発防止の検討、他</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染に関する基本的な考え方</li> <li>2 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>3 感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5 感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7 感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。</li> <li>2 感染の予防対策に関すること。</li> <li>3 感染発生時の対応及び改善策に関すること。</li> <li>4 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。</li> <li>5 感染対策に係る教育及び研修に関すること。</li> <li>6 感染対策の実施状況の評価に関すること。</li> <li>7 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。</li> <li>8 その他感染対策に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナ時代の感染対策</li> <li>2 个人防护具使用 ～基本から新型コロナウイルス感染症対応まで～</li> <li>3 特殊抗菌薬（カルバペネム薬・抗MRSA薬）使用状況について</li> <li>4 院内全体で考える抗菌薬の適正使用</li> <li>5 職業感染防止 ～粘膜曝露・針刺し・切創予防～</li> <li>6 抗菌薬の適正使用につながる適正な血液培養検査</li> </ol> <p>※ この他に新規採用者・復職者への研修，外部委託業者への研修を別途実施した</p> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤耐性菌，人工呼吸器関連肺炎，中心ライン関連血流感染，外科系診療科（消化器・乳腺内分泌外科，呼吸器・心臓血管外科，泌尿器科，産婦人科，脳神経外科，小児外科，整形外科）別SSI，尿道留置カテーテル関連尿路感染，インフルエンザ，感染性胃腸炎，手指消毒薬の払い出し状況，手指衛生遵守状況，抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施</li> <li>2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション，環境チェック）</li> <li>3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し，迅速な感染防止対策を実施</li> <li>4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂</li> <li>5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は，直接的な主治医とのディスカッション</li> <li>6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供）</li> <li>7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応</li> <li>8 針刺し・切創，粘膜曝露対策，職員のワクチン接種などの職業感染対策</li> <li>9 施設管理部門，清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1 医薬品の安全管理（2020）</p> <p>① 本院の医薬品安全管理体制</p> <p>② 本院の医薬品に関連するインシデントの現状</p> <p>③ 医薬品安全管理における周知でお願いしたいこと</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成（有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>① 各部署の手順書の遵守状況のチェックを実施した。評価が悪かった項目は、後日改善を確認した。</p> <p>② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。</p> <p>③ 手順書の改訂を行った。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>1 ミトコンドリア病（MELAS）に対するエダラボン投与</p> <p>2 新型コロナウイルス（COVID-19）に対するファビピラビル等の倫理的使用</p> <p>3 難治再発性のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫に対するベネトクラクス内服療法、他</p> <p>以上を含め、未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター（未承認新規医薬品等の担当部門）に申請があり、センターの会議で承認をされたもの限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1 採用薬剤適正使用情報（Vol. 85～Vol. 107）の配信          当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は必要に応じて選択して配信。</p> <p>2 薬剤情報ステーションの発刊          薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 141回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>[人工心肺装置及び補助装置] (16回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年5月8日 「人工心肺装置勉強会」 (人工心肺装置の注意点 他) OP室</li> <li>・ 2020年5月18日 「補助循環装置勉強会」 (補助循環装置の注意点 他) OP室</li> <li>・ 2020年7月1日 「人工心肺装置HAS-Ⅲ」 (HAS-Ⅲの基本機能の説明 他) OP室</li> <li>・ 2020年7月6日 「PCPS勉強会」 (使用上の注意点・トラブルシューティング 他) 中央診療棟4Fカンファレンス室</li> <li>・ 2020年11月2日 「PCPS勉強会」 (使用上の注意点・トラブルシューティング 他) 中央診療棟4Fカンファレンス室</li> <li>・ 2020年12月1日～2日 「CARDIO SAVE勉強会」 (操作方法 他) ME室</li> <li>・ 2020年12月21日, 12月23日～24日, 12月26日 「補助循環システム(ユニモ)説明会」 (使用方法と注意点 他) 救急外来</li> <li>・ 2020年12月21日～26日 「Cardio Save(IABP)説明会」 (使用方法と注意点 他) 救急外来</li> <li>・ 2020年12月21日, 12月23日～24日 「UNIMO(補助循環システム)説明会」 (概要, 取扱方法, セットアップ方法 他) ME室</li> <li>・ 2020年12月27日, 12月29日 「Cardio Save(IABP)説明会」 (使用方法と注意点 他) 救急外来</li> <li>・ 2021年1月9日 「補助循環システム(ユニモ)説明会」 (使用方法と注意点 他) 救急外来</li> <li>・ 2021年1月14日～18日 「補助循環システム(ユニモ)説明会」 (使用方法と注意点 他) IUC</li> <li>・ 2021年2月19日, 2月21日～23日, 2月25日 「Cardio save(IABP)説明会」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年2月26日, 2月28日～3月1日, 3月4日, 3月6日 「Cardio save(IABP)説明会」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年3月3日 「麻酔科レジデントセミナー」 (概要, 構成, 注意点 他) 手術部麻酔科控え室</li> <li>・ 2021年3月7日 「Cardio save(IABP)説明会」 (使用方法・注意点 他)</li> </ul> <p>[人工呼吸器] (20回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月30日～5月1日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法・注意点 他) 東11F病棟</li> <li>・ 2020年6月7日 「人工呼吸について」 (使用方法 他) ICU</li> <li>・ 2020年6月10日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法・注意点 他) ME室</li> <li>・ 2020年8月24日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法 他) 西8F病棟</li> <li>・ 2020年8月26日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法 他) 西8F病棟</li> <li>・ 2020年10月7日～8日 「ハミングXの使用方法について」 (使用方法 他) 救命センター</li> <li>・ 2020年10月13日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法・注意点 他) 東4F病棟</li> <li>・ 2020年11月27日, 11月30日, 12月1日～12月3日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月4日～12月8日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月9日～12月13日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月14日～12月18日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月14日 「PB840VV+について」 (PB840VV+の使用方法 他) 東3F病棟</li> <li>・ 2020年12月19日～12月23日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月24日～12月28日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2020年12月29日～2021年1月2日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年1月4日～8日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年1月9日, 1月11日～14日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年1月15日～19日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年1月20日, 1月22日～23日, 1月25日～26日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> <li>・ 2021年1月27日～29日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点 他)</li> </ul> <p>[血液浄化装置] (19回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年6月9日 「透析液と水処理」 (透析液と水処理, 水質基準 他) 血液浄化室</li> <li>・ 2020年6月11日 「CHDFの勉強会」 (CHDFについて 他) 救急/ICUカンファレンス室</li> <li>・ 2020年6月18日 「血漿交換・PBSCH勉強会」 (概要とTR-55X・スペクトラオブテアについて 他) 血液浄化室</li> </ul>	

- ・2020年7月15日 「DFPP・GCAP勉強会」(概要とACH-Σ, TR-55Xについて 他) 血液浄化室
- ・2020年10月8日 「CHDF勉強会」(回路・装置説明を含むトラブルシューティング 他) ICUカンファレンス室
- ・2020年11月12日 「GCAP, PBSCH勉強会」(概要と装置説明 他) 血液浄化室
- ・2020年11月26日 「血液浄化部勉強会 PEXとDFPPについて」(原理 他) 血液浄化室
- ・2020年11月27日, 11月30日~12月3日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月4日~8日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月9日~13日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月9日 「透析液と水処理」(装置について 他) 血液浄化室
- ・2020年12月14日~18日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月19日~23日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月29日~2021年1月2日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月4日~8日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月9日, 1月12日~15日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月16日~17日, 1月19日~20日, 1月22日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月25日~29日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2021年3月4日, 3月9日~10日, 3月15日 「個人用透析装置TR-3300Sの導入研修会」 透析室

[除細動器(AEDを除く)] (27回)

- ・2020年4月16日~17日, 4月20日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年4月21日~22日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年4月21日~4月25日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年4月21日, 4月23日~4月25日, 4月27日 「除細動器TEC-5631について」  
(使用方法と注意点 他)
- ・2020年4月26日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年4月28日~5月1日, 5月3日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年5月5日, 5月8日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他)
- ・2020年5月18日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法と注意点 他) OP室
- ・2020年11月17日~18日, 11月20日, 11月24日, 12月3日 「TEC-5631について」(使用方法 他)  
血液浄化療法部
- ・2020年11月20日~21日, 11月24日~26日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法 他)  
東10F病棟
- ・2020年11月21日~24日, 11月26日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法 他) 東10F病棟
- ・2020年11月27日, 11月30日~12月3日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月1日~2日, 12月7日~9日 「除細動器TEC-5631について」(使用方法 他) 東10F病棟
- ・2020年12月4日, 12月8日, 12月14日, 12月21日, 12月23日 「TEC-5631について」(使用方法 他)  
血液浄化療法部
- ・2020年12月4日~8日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月5日, 12月8日~11日 「TEC-5631について」(使用方法 他) 血液浄化療法部
- ・2020年12月9日~13日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月11日~12日, 12月14日, 12月17日, 12月28日 「除細動器TEC-5631について」  
(使用方法 他) 東10F病棟
- ・2020年12月14日~18日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月19日~23日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月24日~25日 「TEC-5631について」(使用方法 他) 血液浄化療法部
- ・2020年12月24日~28日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2020年12月29日, 12月31日~2021年1月3日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月4日~8日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月9日, 1月12日~15日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月17日, 1月19日~20日, 1月22日~23日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」  
(使用方法・注意点 他)
- ・2021年1月25日~29日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法・注意点 他)

[閉鎖式保育器] (2回)

- ・2020年5月4日 「閉鎖式保育器について」(使用方法と点検方法 他) ME室
- ・2020年11月26日 「閉鎖式保育器デュアルインキュビについて」(使用方法 他) NICU

[その他医療機器] (57回)

- ・2020年4月20日 「電気メス勉強会」 (特徴・使用方法 他) OP室
- ・2020年4月20日 「バイポーラ」 (特徴・使用方法 他) OP室
- ・2020年4月22日, 4月24日, 4月27日, 4月30日 「ヘモクロンシングネイチャーエリート説明会」 (操作方法・注意点 他) OP室
- ・2020年4月27日 「超音波メス勉強会」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年5月27日 「ベッセルシーリングシステム勉強会」 (動作原理・機能 他) OP室
- ・2020年6月4日 「インフィニティ/AVI録画装置/顕微鏡ペンテロ」 (使用方法・注意点 他) OP室
- ・2020年6月8日 「麻酔器勉強会」 (役割・注意点 他) OP室
- ・2020年6月9日 「内視鏡タワー勉強会」 (種類・使用方法 他) OP室
- ・2020年6月15日 「超音波吸引装置勉強会」 (原理・動作 他) OP室
- ・2020年7月8日, 8月14日, 8月18日, 8月25日~26日 「自己血回収装置CATsmartについて」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年7月8日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月8日, 7月11日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月8日, 7月10日~13日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月8日, 7月11日, 7月13日~14日, 7月16日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月8日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月8日, 7月10日, 7月28日, 8月13日 「Care Link Smart Syncの研修会」 (使用方法・注意 他) 血管撮影室
- ・2020年7月9日~10日, 7月13日, 7月16日, 7月20日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月9日~10日, 7月14日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月10日~11日, 7月13日~14日, 7月20日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月13日~15日 「口腔内スキャナー「セレック プライムスキャン」取り扱い説明会」 (構成・役割・取り扱い説明 他) 歯科外来4階 A12付近及びセミナー室
- ・2020年7月15日~17日, 7月21日~22日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月15日~16日, 7月21日~23日 「ヘモスフィアについて」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年7月21日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月21日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月23日, 7月25日~28日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年7月24日~25日, 7月27日~29日 「ヘモスフィアについて」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年7月31日, 8月3日 「ヘモスフィアについて」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年7月31日, 8月3日~6日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年8月15日 「3Dスコープ(LTF-S300-10-3D)について」 (取り扱い方法 他) OP室
- ・2020年8月27日~28日, 8月31日 「自己血回収装置CATsmartについて」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年9月14日 「超音波画像診断装置「EDGE II」の研修」 (使用方法 他) 西11F病棟
- ・2020年9月14日~16日, 9月18日 「ダヴィンチXI研修会」 (システムの概要 他)
- ・2020年9月17日~18日, 9月21日~22日, 9月24日 「HeartMateⅢハンズオン研修会」 (構成・注意点 他) 病棟10F 学生指導室
- ・2020年10月9日 「生体情報モニター バイタルセンサS TM2590の研修」 (取り扱い説明 他) 耳鼻咽喉・頭頸部外科外来20診察室
- ・2020年10月12日, 10月15日~16日, 10月19日 「DVM-4500について」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年10月14日 「HeartMateⅢ説明会」 (操作方法・注意点 他) 病棟3F 第5検討会室
- ・2020年10月15日~16日, 10月22日~23日 「GE社製 麻酔器勉強会」 (点検方法・使用方法 他) OP室
- ・2020年10月16日~20日 「DVM-4500について」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年10月21日 「DVM-4500について」 (使用方法 他) 手術室・医局・病棟
- ・2020年10月21日~23日 「DVM-4500について」 (使用方法 他) OP室
- ・2020年11月6日, 12月1日~2日 「移動型透視装置の使用方法に関して」 (使用方法 他) 救急外来手術室
- ・2020年11月17日, 11月19日~21日, 11月23日 「HeartMateⅢ」 (ハンズオン 他)
- ・2020年11月18日, 11月20日, 11月24日, 11月26日 「移動型透視装置の使用方法に関して」 (使用方法 他) 救急外来手術室
- ・2020年11月18日 「HeartMateⅢハンズオン研修会」 (操作方法 他) 第3検討会室
- ・2020年11月20日~21日, 11月23日, 11月25日~26日 「移動型透視装置の使用方法に関して」 (使用方法 他) 救急外来手術室
- ・2020年11月24日 「医療用体成分分析装置関連」 (機器説明 他) 栄養指導室1
- ・2020年11月24日 「HeartMateⅢ勉強会」 (概要・使用方法 他) ME室

- ・2020年11月24日～26日「HeartMateⅢ」（ハンズオン 他）東10F病棟
- ・2020年11月26日「植込み型補助人工心臓ハンズオンセミナー」（ハンズオン 他）総合リハビリセンター
- ・2020年11月27日「HeartMateⅢハンズオン研修会」（ハンズオン 他）カンファレンス室
- ・2020年12月4日「気管支鏡エアウェイマネジメントモバイルスコープの取り扱い説明」（取り扱い説明 他）西8F病棟
- ・2020年12月15日,12月18日「ポケットエコー取り扱いの研修」（使用方法・注意点 他）
- ・2021年2月25日,3月2日「白内障手術装置の取扱説明」（操作方法 他）眼科外来 手術室
- ・2021年3月12日,3月15日「サージトロンdualEMC取り扱いの研修」（使用方法・注意点 他）
- ・2021年3月17日「Venue 50 Vascular Access説明会」（機器説明 他）手術室2F ラウンジ
- ・2021年3月17日～19日,3月22日,3月25日「新しい生体情報モニタの取り扱い説明」（取り扱い説明 他）救急病棟
- ・2021年3月25日「超音波画像診断装置 取り扱い説明」（取り扱い説明 他）総合周産期母子医療センター

### ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (  有 ・ 無 )
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：  
医療機器（人工心肺装置，補助循環装置，人工呼吸器，血液浄化装置，除細動器，閉鎖式保育器，診療用高エネルギー放射線発生装置，放射線照射装置，CTエックス線装置，磁気共鳴画像診断装置，麻酔器，眼内内視鏡，歯科ユニット，高気圧酸素治療装置，ダヴィンチ，12誘導心電計，超音波画像診断装置 など）に関し保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の他職種により構成される委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）にて評価を受ける。  
※保守点検計画書には，医療機器名，製造販売業者名，型式，保守点検を実施する予定の時期，間隔，条件等を記載。また，機器台帳にて修理履歴を保管

### ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：  
病院長を委員長とした“新規医療技術等管理センター”にて検討を行うことになっている。また，実際に使用された場合にも，この委員会に報告することになっている。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：  
厚生労働省等の行政，PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知，並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報をMEセンターが収集し，該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。また，院内webサーバーにも掲載し院内に情報を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） 医師</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療安全管理部長として院内の医療安全に関する管理部門に所属し統括</li> <li>2 医療の安全管理体制の確保及び推進のための医療安全推進委員会及び重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療事例審議委員会の構成員並びに運営</li> <li>3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務及び医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務に関し、取り決めを行う各専門部会の構成員となり統括</li> </ol>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告</li> <li>2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知</li> <li>3 全部署のリスクマネジャーが出席するリスクマネジャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネジャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認</li> </ol> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握</li> <li>2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案</li> <li>3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有</li> </ol> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p> <p>・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者，標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認，及び指導の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか，また，患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて，インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき，院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。</li> <li>2 インフォームド・コンセントに関する基本方針，インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者，標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項），インフォームド・コンセントの取得フローチャート，インフォームド・コンセントを必要とする医療行為を定めている。</li> </ol>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認，及び指導の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療録監査員会内規に基づき，年2回診療録監査を実施し，院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。</li> </ol>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名，専任（1）名，兼任（23）名  うち医師：専従（1）名，専任（0）名，兼任（11）名  うち薬剤師：専従（1）名，専任（0）名，兼任（1）名  うち看護師：専従（2）名，専任（0）名，兼任（2）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療安全管理委員会に係る運営及び事務</li> <li>2 アクシデント又は病院長が必要と認める事象（以下「事象等」という。）が発生した場合は，事象等に係る次に掲げる事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 診療録その他診療に関する記録の確認</li> <li>ロ 患者又はその家族への説明</li> <li>ハ 発生原因の究明</li> <li>ニ その他対応状況の確認</li> <li>ホ 職員に対する必要な指導</li> </ul> </li> <li>3 医療の安全管理に係る教育，研修及び連絡調整</li> <li>4 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進</li> <li>5 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認</li> <li>6 医事紛争及び医療訴訟の対応</li> <li>7 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録</li> <li>8 医療安全管理委員会との連携状況，院内研修の実績，医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容，相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録</li> <li>9 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務</li> <li>10 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項</li> </ol>	

《モニタリング項目》

1 周術期肺血栓栓症

- ① 手術症例 DVT/PTE 予防アセスメント施行率
- ② 手術例における肺血栓栓症予防管理料算定率
- ③ 1万手術あたり周術期肺血栓栓症発生率

2 入院患者の転倒転落

- ① 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生率
- ② 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生後外傷（レベル 3a 以上）発生率

3 中心静脈カテーテル挿入（とくに挿入時の医原性気胸）

- ① 中心静脈カテーテル穿刺挿入報告書提出率
- ② 内頸静脈穿刺における気胸発生率
- ③ 鎖骨下静脈穿刺における気胸発生率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 7 件），及び許可件数（ 5 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
  - 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
  - 2 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
  - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（20 件），及び許可件数（19 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）

・活動の主な内容：

- 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
- 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
- 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 493 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 154 件（事例数。報告件数は 178 件）

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
- 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
- 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：信州大学医学部附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：山梨大学医学部附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

適切に実施されていると評価されたため、特段の指摘事項はなかった。

質問事項は以下のとおり（一部抜粋）。

- ・リスクマネジャー全体会議が2ヶ月に1回で院内の周知や意見集約等に支障がないか
- ・医療安全管理責任者と GRM を兼任しているが業務上支障がないか
- ・医薬品安全管理責任者と GRM を兼任しているが業務上支障がないか
- ・申請された医療技術が高難度新規医療技術の技術難易度 D, E にあたるかをどのように確認しているか

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和2年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、eラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和2年度特定機能病院管理者研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を書類審査及び令和元年11月27日～29日訪問審査を受審し、令和3年1月4日付けで認定証の交付を受けた。

認定期間 2019年12月20日～2024年12月19日

認定発行日 令和3年1月4日

認定病院種別及び番号

主たる機能：一般病院3 認定第GB146-5号

副機能：精神科病院 認定第GB146号

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

なし

・評価を踏まえ講じた措置

なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること
2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者
  - ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者
  - ② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者（当該病院内外での組織管理経験が含まれること。）
  - ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者
3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者
  - ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者
  - ② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有・無）

- ・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
澤村 明	新潟大学理事	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有・無
小林 正治	新潟大学医歯学系		学長が指名する医科系運営会議 及び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
成田 一衛	新潟大学医歯学系		学長が指名する医科系運営会議 及び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
藤井 幸彦	新潟大学脳研究所		学長が指名する医科系運営会議 及び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		学長が指名する医歯学総合病院 運営協議会委員のうち新潟大学 に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
前田 健康	新潟大学歯学部長		学長が指名する医歯学総合病院 運営協議会委員のうち新潟大学 に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
小野寺 理	新潟大学脳研究所 長		学長が指名する医歯学総合病院 運営協議会委員のうち新潟大学 に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="radio"/> 有・無
堂前洋一郎	新潟県医師会会長		学外の有識者：県医師会長とし て、医療・保健・福祉全般に豊富 な知見を有する(選考委員会規程 第3条第4号)	有 <input checked="" type="radio"/> 無
松本 晴樹	新潟県福祉保健部 部長		学外の有識者：県の医療に係る担 当者として、医療・保健・福祉全 般に豊富な知見を有する(選考委 員会規程第3条第4号)	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無（平成30年10月1日施行）	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体の主要な審議内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項</li> <li>・ 病院の中期目標・中期計画に関する事項</li> <li>・ 病院の予算及び決算に関する事項</li> <li>・ 病院の教員の選考に関する事項</li> <li>・ 病院の組織に関する重要事項</li> <li>・ 病院の教育・研究及び診療に関する重要事項</li> <li>・ その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項</li> </ul> </li> <li>・ 審議の概要の従業者への周知状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。</li> <li>・ 院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能</li> </ul> </li> <li>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</li> <li>・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li> <li>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（有・(無)）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
小野寺 理		医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部真一		医師	副病院長（医療安全管理部長）
菊地 利明		医師	副病院長
小林 正治		歯科医師	副病院長
齋藤 功		歯科医師	副病院長
杉田 洋子		看護師	副病院長（看護部長）
岡田 俊		事務職員	副病院長（事務部長）
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	診療支援部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

- ・ 規程の主な内容

新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第13条により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長補佐を置くことができることを規定。  
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全管理」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。  
また、病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」を命じている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、医療放射線安全管理責任者の業務、及びその医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法：新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村 朝輝	元 済生会新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
月岡 恵	元 新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
田代 文俊	新潟大学(監事)		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
成田 邦彦	新潟大学(理事)		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容  
本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議体の実施状況（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
成田 邦彦	新潟大学理事	○	<input checked="" type="radio"/> 有・無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
前田 健康	新潟大学歯学部長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
小野寺 理	新潟大学脳研究所長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
堂前 洋一郎	新潟県医師会会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
松本 晴樹	新潟県福祉保健部部長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
山岸美恵子	新潟県薬剤師会相談役		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
佐々木綾子	新潟県村上地域振興局保健福祉部長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
河原 和夫	医療法人社団 崎陽会 日の出ヶ丘病院院長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li><li>・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」</li></ul></li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報発信の方法、内容等の概要</li><li>・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。また、本院ホームページにおいて、閲覧者が見やすく、分かりやすい掲載にリニューアルを予定している。</li><li>・ 診療案内冊子を毎年作成 (更新) し、県内全医療機関へ送付している。</li></ul>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</li><li>・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。</li><li>・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。</li></ul>	